

緩急順叙ノ宜キヲ謀リ國家ノ經費ヲ輕減シテ充分ノ節儉ヲ加フルハ素ヨリ其爲スヲ得サル所ニ非サレハ政府ニシテ苟モ此方途ニ盡カセハ國庫ニ壹貳百萬圓ノ餘贏ヲ生セシムルニ難カラス然ラハ則チ新ニ本稅ヲ興ササルモ以テ國費ノ需用ニ供スルニ足ラン之ニ反シテ若シ今日ノ施政ノ現狀ヲ以テ三五年ヲ經過セハ日用物ハ悉ク課稅セラレ其實効ハ却テ舉ラス人民日ニ凍餒ニ迫ル可シ且夫レ國會開設ノ期モ近キニ在レハ人民ノ怨恨ハ結ヒテ國會ノ議場ニ破裂スルナラン此ノ如ク民心ヲ衝激スル將來ノ結果ハ實ニ懼ル可ク又憂フ可キニ非スヤ故ニ今日ハ國費ニ充分ノ節約ヲ加ヘ且施政ノ順叙ヲ整ヘ以テ民力ヲ培養シテ漸次ニ富國強兵ノ大策ヲ立ンコトヲ切望スルヨリ本案ヲ廢棄セント欲スルノミ贅言ヲ放テル爲メニ貴

重ノ時間ヲ費セシハ深ク謝スル所ナレトモ是レ衷情ノ已ムニ難キニ出ツ各官幸ニ諒察セヨ

○四十番 渡邊清 賛成ス政府ハカメテ官衙其他ノ費用ニ節約ヲ加ヘ以

テ漸次ニ人民ノ負擔ヲ輕ロメ然ル後ニ物品稅ヲ施サンコトヲ望ム

○議長 二十三番ノ廢案說ハ定數ノ賛成者ナキヲ以テ消滅ス

○五十一番 津田眞道 本官ハ第一讀會ニハ四十番ト同感ニシテ本案ニ對

シ廢棄說ヲ主張シタルモ第二讀會ニハ闕席シ只今第三讀會ニ至リ本案發布ノ已ムヲ得サル事情ヲ知ルヨリ涙ヲ垂レテ賛成ヲ表ス因テ其變說セル所以ヲ一言センニ第一讀會ヲ終レル後ニ當リ大藏卿ハ特ニ本院ニ來リテ本案發布ノ今日ニ已ム可ラサル理由ヲ告ケ且別ニ絹布稅則ヲ制定セントスルコトヲ陳ヘリ是レ國庫ノ入出相償

ハス實ニ他ニ之ヲ救濟スル方途ヲ得サルニ出タル可シ因テ本官ハ
 飜テ醬油菓子ニ稅案ニハ同意セルモ絹布稅則ニ至テハ不同意ヲ鳴
 ササルヲ得ス今日我邦ノ產物ヲ通觀スルニ米ヲ以テ第一ト爲シ麥
 生絲之ニ次ク米麥ハ國民ノ食料ニ供スル日用品ナレハ之ヲ海外ニ
 輸出スル數量ハ甚々僅少ニシテ輸出ノ首位ヲ占ムル者ハ生絲ナリ
 而シテ將來本邦ノ富饒ヲ海外ニ誇示セシムル者モ亦生絲ナラン此
 生糸ト雖モ素ト天産粗糙品ナルヲ以テ輸出額ハ一年大約一千幾百
 萬圓ニ過キス然ルニ米英佛ノ諸國ハ此生糸ヲ以テ絹布ヲ織リ以テ
 歐米諸國ノ需用ニ供シ常ニ大利ヲ攫收ス其絹布ノ或ハ時ニ本邦ニ
 輸來スル者モ之レ有ラン今此ニ百世ノ感ヲ起セハ我邦ノ織物モ亦
 漸次佛國里昂ノ織物ト競争スル地位ニ達セシムル計畫ヲ爲ササ

ル可ラス倩ラ天下ノ形勢ヲ觀察スルニ現今ハ尙ホ是レ弱肉強食ノ
 世界ナルヲ以テ苟モ獨立國ノ体面ヲ維持センニハ先ツ兵力ヲ強盛
 ナラシメサル可ラス兵力ヲ強盛ナラシムルハ國家ノ根本ヲ堅ウス
 ルニ在リ國家ノ根本ヲ堅ウスルハ財力ヲ富スニ在リ財力ヲ富スハ
 只是レ國產ヲ興シ外國貿易ヲ隆盛ナラシムル一途アルノミ然レト
 モ前陳スル如ク國產ノ第一タル米ヲ輸出セハ國民忽チ飢餓ニ陥ラ
 シ然ラハ則チ輸出品ハ一ニ生糸ニ歸スルノ外ナシ然ルニ生糸ハ素
 ト天産粗糙品ニ係ルヲ以テ例ハ里昂ニ於テ絹布ニ織ラハ三千萬
 圓ノ價格ト爲ル可キ生糸モ我邦ヲ出ルニ當テハ僅ニ一千万圓ヲ出
 テサラン故ニ本邦ハ此ヨリ生糸ノ輸出ヲ減シ主トシテ織物ト爲シ
 テ輸出スル方向ヲ取ラサル可ラス彼ノ西陣織ハ最良ノ織物ナレト

モ西洋人ノ眼ヨリ見レハ染色織方ノ未タ充分ナラサルヨリ歐米諸邦ノ上等ノ需用ニ適セス是レ染織工業ノ未タ歐米諸邦ニ及ハサルニ因由ス夫レ本邦海陸軍ノ制度法式ハ近來大ニ進歩ノ狀ヲ呈シ村田銃ノ如キ發明アリテ殆ント歐米ニアクヲ得ルニ至レリ是ヲ以テ之ヲ觀レハ絹布ノ如キモ十數年ヲ出テスシテ里昂ノ絹布ニハ及ハサルモ日耳曼ノ絹布ニ匹敵スルカ如キハ期シテ待ヘシ苟モ此目的ヲ達セントセハ政府ハカメテ此工業ニ保護ヲ與フルヲ要ス然ルニ却テ絹布稅則ヲ發シ製造者ヲシテ困弊セシメハ此工業ヲシテ益ス衰頽ヲ致サシメ以テ將來ノ目的タル輸出ノ盛大ヲ期セントスルハ蓋シ能ハサラントス何トナレハ日本人民ニハ貧困者多キヲ以テ絹布ノ價值騰貴セハ其上等品ハ到底購買スルヲ得ス隨テ内國ノ製造

額ヲ減ス可ケレハナリ

○議長 五十一番ニ告ク議論ノ議題外ニ涉ラサルニ注意セヨ

○五十一番 津田真道 敢テ議題外ニ涉ルニ非ス前陳セル所ハ醬油稅則ヲ

賛成スル理由ナルノミ要スルニ本官ノ第一讀會ト思想ヲ異ニセシハ大藏卿ノ演告中ニ漸次地方稅協議費ヲ輕減シ又絹布稅則ヲ追發スルト云ヒ其事明カニ期シ難キモ若シ絹布稅則案ノ本院ニ下付セル有ラハ充分ニ之ニ抵抗セント欲スルヲ以テ今先ツ本案ヲ賛成スルナリ

○二十四番 楫取素彦 本官ノ向キニ廢棄說ヲ唱ヘシ旨趣ハ第一ニ民力ノ

耐サルト第二ニ必用物ニ課稅スルノ不可ナルトノ二點ニ在リ爾後大藏卿ノ演說ヲ聞クニ及ヒ反顧スル所アリシモ是レ胸間豁然喜ン

テ賛成スルニ非ス我邦海陸軍ノ擴張事業ハ未タ完全ナリト謂フヲ
 得ス之ヲ隣國ノ形勢ニ考フルニ決シテ忽諸ニ付ス可キノ時機ニ非
 スト信ス今日地方人民ノ景況ハ政府素ヨリ之ヲ察セサルニ非サレ
 トモ國費ノ給足セサルハ到底度外視ス可ラス且ヤ大藏卿ハ漸次地
 租、地方稅等ヲ輕減スル目算ナルコトヲ述タリ是レ本官ノ民力ノ耐
 サルヲ憂フル持説ニ適合ス必竟本官ノ翻テ本案ニ賛成セシモ此日
 後ノ樂ミ有ルニ由ル四十番ハ本案ノ實施ヲ延期センコトヲ希望ス
 レトモ民間今日ノ疲弊ハ果シテ何ノ日ニ救治ス可キヤ又其金融ハ
 何ノ時ニ恢復ス可キヤ實ニ其目途ヲ得サルニ苦シム故ニ一タヒ本
 案ヲ可決セル以上ハ縱令ヒ實施ニ猶豫ヲ與フルモ五十步百步ノ論
 ノミ政府ノ急速ニ議決スルヲ望メルヲ以テ之ヲ推セハ議定上奏セ

ハ直ニ發布スルヤ明カナリ故ニ寧口地租、地方稅ノ輕減ヲ待ツテ民
 心ヲ慰スルニ如カス

○議長 布告案ヲ可トスル者ハ起立セヨ
 起立者二十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 茂 朗讀

第一條

凡ソ醬油溜リヲ併稱スヲ製造シテ營業セント欲スル者ハ其旨管廳ニ願出
 製造場一箇所毎ニ免許鑑札ヲ受クヘシ

第二條

免許ヲ受ケタル者ハ左ノ通營業稅及ヒ造石稅ヲ納ムヘシ

營業稅 製造場一箇所ニ付一箇年 金五圓

造石稅 製造高壹石ニ付 金壹圓

第三條

免許鑑札ヲ失却毀損スルカ或ハ代替改名轉居^{セシトキ}節ハ管廳ヘ届出其再渡又ハ書換ヲ請フヘシ

第四條

^{醬油製造人} 廢業^{スルトキ}節ハ管廳ニ届出鑑札ヲ還納スヘシ

第五條

^{免許} 鑑札ハ貸借賣買及ヒ讓受讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

○五十一番^{津田眞道} 前陳ノ如ク本官ハ別ニ異見ヲ貯ヘサルヲ以テ書記

官ノ朗讀ヲ省キ便宜議題ニ付センコトヲ特別ニ建議ス

○議長 第一條ヨリ第五條マテ本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十五人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス即チ五十一番ノ建議ヲ採用シテ朗讀ヲ省キ第六條ヨリ第十條マテヲ議題ト爲ス

第六條

營業稅ハ一箇年ヲ二期ニ分チ前半年分ハ其年一月三十一日限後半
年分ハ同ク七月三十一日限之ヲ納ムヘシ但新ニ開業スル者ハ免許
鑑札ヲ受クル節^{トキ}其半年分ノ營業稅ヲ納ムヘシ

第七條

造石稅ハ左ノ期限ニ從ヒ之ヲ納ムヘシ但廢業スル者ハ其節之ヲ納
ムヘシ

第一期 五月三十一日限

一月一日ヨリ四月中検査済石數ニ係ル稅額

第二期 九月三十日限

五月一日ヨリ八月中検査済石數ニ係ル稅額

第三期 翌年一月三十一日限

九月一日ヨリ十二月中検査済石數ニ係ル稅額

第八條

醬油ハ製成ノ後五日以内ニ管廳ニ届出検査ヲ受クヘシ

第九條

廢業ノ際未製成ノ醬油ヲ所持スル者ハ其時々管廳ニ届出検査ヲ受ケ其石數ニ就キ納稅スヘシ但之ヲ同業者ニ賣渡シ又ハ二箇所以上

ニ於テ製造スル者其一箇所以上ヲ廢シ尙ホ存スル所ノ製造場ニ之ヲ移ス者ハ其旨届出製成ノ上其製成者ニ於テ第八條ニ從ヒ検査ヲ受クヘシ

第十條

検査未済ノ醬油ト検査既済ノ醬油トヲ混和スル者ハ其混和ノ日ヨリ五日以内ニ其旨届出更ニ總石數ヲ以テ検査ヲ受ケ納稅スヘシ

○議長 第六條ヨリ第十條マテハ可決ト認メ第十一條ヨリ第十五條マテヲ議題ト爲ス

第十一條

検査既済ノ醬油其造石稅納期內ニ非常ノ損害ニ罹リテ廢棄ニ屬シ若クハ腐敗シタルトキハ直ニ管廳ニ申出検査ヲ受ケ該造石稅ノ免

除ヲ請フコトヲ得

第十二條

外國ニ輸出スル醬油ハ輸出ノ節稅關ニ於テ檢査ヲ受ケ置輸入港稅關ノ陸揚免狀若クハ其他ノ證憑ト爲ルヘキ書類ニ在留領事ノ檢印ヲ受ケ之ヲ當初輸出ノ稅關ニ差出シ其造石稅ニ相當スル金額ノ下戻ヲ請フコトヲ得但本項ニ由リ造石稅ノ下戻ヲ受ケタル醬油ヲ再輸入シタルトキハ其金額ヲ納ムヘシ

第十三條

醬油製造人ハ左ノ帳簿ヲ調製スヘシ

醬油製
釀造原品買入帳

仕込帳

醬油賣上帳

第十四條

醬油製造用ノ桶瓶類容器ハ使用以前管廳ニ届出檢査ヲ受クヘシ

第十五條

醬油搾リ器械ニハ主任官ノ封緘ヲ受ケ置使用スルトキハ其旨申出開封ヲ請フヘシ但過誤等ニテ封緘ヲ毀損シタルトキハ直ニ管廳ニ届出更ニ封緘ヲ請フヘシ

○議長 第十一條ヨリ第十五條マテハ可決ト認メ第十六條ヨリ第二十條マテヲ議題ト爲ス

第十六條

醬油製造人ハ毎年一月三十一日迄ニ其年製造見込ノ石數並ニ其釀製

造方法ヲ管廳ニ届出ヘシ新ニ開業セシ者ハ免許ヲ受ケタル翌日ヨ
リ十五日以内ニ之ヲ届出ヘシ但見込石數ノ増減並ニ釀造方法ノ變
換ハ其時々届出ヘシ

第十七條

醬油製造ニ屬スル倉庫納屋並ニ諸器械ハ營業免許ヲ受ケタルトキ
直ニ之ヲ管廳ニ届出ヘシ但増減ハ其時々届出ヘシ

第十八條

醬油製造人ハ同業者ニ非サル者ニ醬油ヲ製造スル爲メノ外製造場ヲ貸スコトヲ許サス

第十九條

醬油製造人ハ自家用料ニ充ル醬油ト雖モ此規則ニ從ヒ検査ヲ受ケ
其造石稅ヲ納ムヘシ

第二十條

醬油卸賣又ハ小賣ヲ以テ營業トスル者ハ自家用料ノ醬油ヲ製造ス
ルコトヲ得ス

○十四番 大鳥圭介 第十八條ニ對シ代造ノ禁例ヲ加フル修正說ヲ提出ス

其文案ハ第二讀會ニ提出セシ所ト一字一句モ變スル無シ即チ「醬油
製造人ハ」ノ下ニ他ノ委托ヲ受ケテ醬油ヲ代造シ又ハノ十六字ヲ加
フルニ在リ其理由ハ前會ニ詳陳シタレハ敢テ贅セス内閣ノ旨意若
シ代造ノ禁例ヲ加ヘスシテ不完全ノ感驗ヲ生スルモ可ナリト謂フ
ニ在ラハ本官亦敢テ此說ヲ主張セサルモ苟モ其遺漏タルヲ知り此
弊害アルヲ恐ルル以上ハ充分ニ逃稅ノ途ヲ塞カサル可ラス且夫レ
代造ノコトヲ明記スルハ製造人ノ提轄ヲ嚴ニシ検査官ニ便宜ヲ與

へ隨テ裁判官ノ煩勞ヲ省クヲ得ン

○十六番 伊丹重賢 前會ト同ク十四番ヲ賛成ス

○十四番 大鳥圭介 只今ノ發言ニ遺漏アレハ少シク補陳セン若シ本官ノ

動議ヲシテ成立スルヲ得ハ第二十七條ニ此カ制裁法ヲ添加セント
ス

○九番 三浦安 賛成ス現動議タル第二讀會ニハ消滅セシモ爾來熟考シ

テ其必要ナルヲ覺レル議官モ之レ有ラン內閣委員ノ辨明ニ依レハ
代造モ亦之ヲ許ササルニ似タリ苟モ之ヲ許サス而シテ徵稅ノ實効
ヲ完カラシメントスル精神ナラハ代造ノ禁例ヲ明記スルヲ要ス必
竟現動議ハ原案ノ精神ヲ確メ內閣ノ本旨ヲ達セシムルニ在ルナリ

○十八番 柴原和 賛成

○三十六番 榎村正直 賛成

○十九番 籠手田安定 賛成

○議長 十四番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十八番 柴原和 賛成ノ理由ヲ一言セン若シ本案ト對峙スル酒造稅則
ニ代造ノ禁例ヲ掲ケスンハ本案特ニ之ヲ掲ケサルモ其弊患ヲ提轄
スル便宜ナキニ非ス然レトモ已ニ酒造稅則第二十二條ニ代造ヲ禁
スル明文ヲ掲ケタル以上ハ決シテ本案ニ之ヲ省クヲ得ス若シ強テ
之ヲ省カハ恰モ代造ヲ許スニ似テ検査官裁判官共ニ其處分ニ惑ハ
ン故ニ原案ノ精神ヲ貫徹セントセハ須ク修正ノ如クセサルヘカラ
ス又若シ代造ヲ許ストセハ本案ノ効用ハ薄弱ト爲リ豪商富農ニシ
テ數十百人ノ雇人ヲ有スル者ハ其人員ニ相當スル多額ノ自家用料

ノ代造ヲ委托スルヲ名トシテ其間ニ奸曲ヲ行フノ弊患ヲ生セン然ルニ本案ノ精神ハ酒造稅則ト同ク代造ヲ禁スルニ在レハ必ス其明文ヲ掲ケサル可ラス願クハ現動議ノ成立センコトヲ

○議長 十四番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十六人

○議長 多數ナルヲ以テ十四番ノ修正說ニ決ス他ハ本案ニ可決スト認メ第二十一條ヨリ第二十五條マテヲ議題ト爲ス

第二十一條

醬油營業人ニ非^{スシテ}サル者自家用料ノ醬油^{ヲ製造スル者}ハ同居ノ家族雇人一人ニ付一箇年壹斗五升ノ割合ヲ超^{ヘテ}製造^{スル}コトヲ得ス若シ之ヲ超^{ヘテ}ル^{トキハ}總^テ此規則ニ從^フハ^シ

第二十二條

醬油製造人ノ醬油仕込高並ニ仕込ニ屬スル豆麥其他ノ原品及ヒ營業ニ關スル諸帳簿ハ主任官隨時之ヲ検査スルコトアルヘシ

第二十三條

主任官ニ於テ此規則ニ關シ犯罪アリト認知シ又ハ思料スルトキハ其場所ニ立入り證憑取調ノ處分ヲ爲スコトヲ得但其主任タルノ證票ヲ携帯スヘシ

第二十四條

第一條ニ違ヒ免許鑑札ヲ受^ケスシテ醬油ヲ製造シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ現在ノ醬油及ヒ製造器械ヲ沒收ス既ニ賣捌キタル者ハ其代金ヲ追徴ス

第二十條ニ違ヒ卸賣人小賣人ニ於テ醬油ヲ製造シ又ハ第二十一條ノ制限ヲ超ヘテ醬油ヲ製造シタル者モ亦本條ニ據リ處分ス

第二十五條

醬油ヲ隱蔽シタル者ハ製成ト未製成トニ拘ハラズ其石數ニ相當スル造石稅三倍ノ罰金ニ處シ仍ホ其犯罪ニ係ル醬油及ヒ容器ヲ沒收ス既ニ賣捌タル者ハ其代金ヲ追徴ス但検査既濟ノ醬油ト検査未濟ノ醬油ト混和シ隱蔽ヲ爲シタル者ハ其總石數ニ就テ論ス

○議長 第二十一條ヨリ第二十五條マテハ可決ト認メ第二十六條ヲ議題ト爲ス

第二十六條

第八條第九條第十條ノ検査ヲ受スケシテ醬油ヲ賣捌貸渡讓渡又ハ自

用シタル者ハ其造石稅ノ三倍ニ相當スル罰金ニ處シ仍ホ其代金ヲ追徴ス

○議長 本條ハ可決ト認メ第二十七條ヲ議題ト爲ス

第二十七條

第十三條ニ違ヒ帳簿ヲ調製セス若クハ帳簿ノ登記ヲ詐リタル者又ハ第十八條ニ違ヒ製造場ヲ貸シタル者ハ三五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス仍ホ其醬油及ヒ容器ヲ沒收ス

○十四番 大鳥圭介 豫陳セル如ク本條ニ修正ヲ加ヘン即チ第十八條ニ代造ノ禁令ヲ挿入セル以上ハ此ニ其制裁法ヲ掲クルヲ要ス因テ第十八條ニ違ヒ下ニ他ノ委託ヲ受ケテ醬油ヲ代造シ又ハノ文字ヲ加ヘントス若シ此文字ヲ掲ケスンハ第十八條ハ無効ニ屬セン敢テ各

位ノ賛成ヲ望ム

○九番 三浦安 賛成

○三十六番 榎村正直 賛成

○十六番 伊丹重賢 賛成

○十八番 柴原和 賛成

○十九番 籠手田安定 賛成

○議長 十四番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○三番 箕作麟祥 本官ハ第十八條ニ代造ノ禁例ヲ明記スルヲ要セスト思

考セシヲ以テ前會ニハ反對論ヲ唱ヘシニ幸ニ其動議ハ議場ノ採ラ

サル所ト爲レリ是ヲ以テ第三讀會モ同轍ニ出ツ可シト思料シ安心

シテ一言ヲモ發セサリシニ何ソ圖ラン多數ノ同意者ヲ得テ修正説

ニ決セントハ已ニ第十八條ニ代造ノ禁例ヲ挿加スルニ決セシ以上
ハ此ニ制裁法ヲ設ケサル可ラス故ヲ以テ翻テ現動議ヲ賛成ス

○議長 十四番ニ問フ其修正文ハ「第十八條ニ違ヒ」ノ下ニ「他ノ依托
云云又ハ」ト爲シ「又ハ」ノ文字ヲ以テ下文ニ連接スルニ在ル乎

○十四番 大鳥圭介 然リ

○議長 十四番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ
起立者二十二人

○議長 多數ナルヲ以テ十四番ノ修正説ニ決シ第二十八條ヨリ第三
十一條マテヲ議題ト爲ス

第二十八條

第五條ニ違ヒ免許第十二條ニ違ヒ帳簿ヲ調製セス若クハ帳簿ノ登記ヲ詐リタル者鑑札ヲ賣買貸借及ヒ讓受讓渡ヲ爲シタル者第十四條

ニ違ヒ検査ヲ受ケスシテ容器桶瓶類ヲ使用シタル者又ハ第十五條ニ違ヒ開封ヲ爲シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條

第三條第四條第八條第九條第十條第十五條但書第十六條又ハ第十七條ノ届出ヲ怠タル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第三十條

此規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第三十一條

醬油製造人ノ家族雇人ニシテ其營業ニ係リ此規則ヲ犯シタルトキハ其營業者ヲ處罰ス

○議長 第二十八條ヨリ第三十一條マテハ可決ト認め第三讀會ヲ畢ル本會ヲ以テ確決會ト看做スニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者二十六人

○議長 多數ナルヲ以テ確決會ト看做スニ決ス

○四十番渡邊清 本官ハ向キニ第三讀會ノ終リニ於テ特別ノ意見ヲ陳センコトヲ豫陳セシモ猶ホ再考スル所アルヲ以テ暫ク之ヲ止ム

○議長 本案ハ修正ノ理由ヲ具シテ上奏セン且告ク明日ハ第四百六十六號議案ノ第三讀會ヲ開ク可シ各位散會セヨ

午後第三時閉場

元老院會議筆記 明治十八年四月十六日

禁傍聽

○第四百六十六號議案 菓子稅制定ノ儀 第一讀會

議長 東久世通禧

出席議員

二番	小畑	美稻
四番	田中	芳男
八番	西	周
九番	三浦	安
十番	福原	實
十一番	長松	幹
十三番	西村	貞陽

十四番 大鳥 圭介
十五番 長岡 護美
十六番 伊丹 重賢
十八番 柴原 和
十九番 籠手田 安定
二十一番 岩下 方平
二十三番 鍋島 直彬
二十四番 楫取 素彦
二十六番 鍋島 幹
二十七番 壬生 基修
二十八番 神山 郡廉

三十一番 上杉 茂憲
三十二番 宮本 小一
三十三番 橋口 兼三
三十四番 楠本 正隆
三十五番 細川 潤次郎
三十六番 榎村 正直
三十七番 神田 孝平
三十八番 岩村 定高
三十九番 大久保 一翁
四十番 渡邊 清
四十四番 由利 公正

四十五番 河田 景與

四十六番 田邊 太一

四十八番 中島 錫胤

五十一番 津田 眞道

五十四番 村田 保

五十五番 久我 通久

内閣委員 二番外 參事院議官補岩崎小二郎

同 三番外 參事院員外議官補神鞭 知常

午前第九時五十五分開場

○議長 第四百六十六號議案ノ第一讀會ヲ開ク本案ハ條項數多ナルヲ以テ朗讀ハ布告案ニ止ム

書記官 森山茂 朗讀

布告案

菓子稅則別紙ノ通制定シ 年 月 日ヨリ施行ス

但東京府管轄伊豆七島小笠原島函館縣沖繩縣札幌縣根室縣ハ當分之ヲ施行セス

右奉 勅旨布告候事

左案ハ朗讀セサリシモ參閱ニ便センカ爲メニ此ニ附載ス

菓子稅則

第一條

菓子營業者ヲ分テ左ノ三種トス

菓子製造人 菓子ヲ製造シ之ヲ菓子營業者ニ賣渡ス者ヲ云フ

菓子卸賣人

菓子ヲ買入レ之ヲ菓子營業者ニ賣渡ス者ヲ云フ

菓子小賣人

菓子ヲ需用人ニ賣渡ス者ヲ云フ

第二條

菓子營業ヲ爲サントスル者ハ管廳ニ願出營業鑑札ヲ受クヘシ但一人ニテ二箇所以上ノ營業場ヲ設クル者又ハ二種或ハ三種ノ營業ヲ兼ヌル者ハ各別ニ營業鑑札ヲ受クヘシ

第三條

菓子營業者自己又ハ家族又ハ雇人ヲ以テ仕入又ハ出賣ヲ爲サントスルトキハ管廳ニ申出仕入鑑札又ハ出賣鑑札ヲ受ケ各自之ヲ携帯スヘシ

第四條

鑑札ヲ受ルトキハ左ノ鑑札料ヲ納ムヘシ

營業鑑札料

一枚ニ付金貳拾錢

仕入鑑札料

一枚ニ付金拾錢

出賣鑑札料

一枚ニ付金拾錢

第五條

鑑札ヲ失却毀損シ又ハ代替改名轉居ノ節ハ管廳ニ届出其再渡又ハ書換ヲ請フヘシ但前條ノ鑑札料ヲ納ムヘシ

第六條

廢業ノ節ハ管廳ニ届出鑑札ヲ還納スヘシ

第七條

鑑札ハ貸借賣買又ハ讓受讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

第八條

菓子營業者ハ左ノ區別ニ從ヒ營業稅ヲ納ムヘシ但ニ業以上ヲ兼ヌル者ハ其稅額ノ多キモノ一箇ニ就キ納稅スヘシ

製造營業稅

- 雇人十人以上アル者 一箇年 金貳拾圓
- 雇人六人以上アル者 一箇年 金拾五圓
- 雇人三人以上アル者 一箇年 金拾圓
- 雇人二人以下アル者 一箇年 金五圓
- 雇人ナキ者 一箇年 金壹圓

卸賣營業稅

- 雇人十人以上アル者 一箇年 金貳拾圓

- 雇人六人以上アル者 一箇年 金拾五圓
- 雇人三人以上アル者 一箇年 金拾圓
- 雇人二人以下アル者 一箇年 金五圓
- 雇人ナキ者 一箇年 金壹圓

小賣營業稅

- 雇人三人以上アル者 一箇年 金七圓
- 雇人二人以下アル者 一箇年 金三圓
- 雇人ナキ者 一箇年 金壹圓

二業以上ヲ兼タル營業者ノ雇人ハ各業ヲ別タス之ヲ合算スルモノトス年齢十五年未滿ノ雇人ハ之ヲ算入セス
露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ其營業稅ヲ免除ス

第九條

營業稅ハ一箇年ヲ二期ニ分チ前半年分ハ其年一月三十一日限後半
年分ハ同ク七月三十一日限之ヲ納ムヘシ但新ニ開業スル者ハ營業
鑑札ヲ受クルトキ其半年分ノ營業稅ヲ納ムヘシ

第十條

營業稅前半年分ハ其年一月一日後半分ハ同ク七月一日ノ雇人ノ
現員又新ニ開業スル者ハ其營業鑑札ヲ受ルトキノ現員ニ據リ定ム
ヘシ但雇人増加シタルトキハ該期ノ増稅ヲ納ムヘシ

第十一條

菓子製造人ハ製造稅トシテ菓子賣上ノ金高百分ノ五ヲ左ノ期限ニ
從ヒ納ムヘシ

第一期

一月一日ヨリ六月三十
日迄賣上金高ニ係ル分

其年八月三十一日限

第二期

七月一日ヨリ十二月三十
一日迄賣上金高ニ係ル分

翌年二月二十八日限

半年分ノ賣上金高三拾圓未滿ノ者及ヒ露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者
ハ其製造稅ヲ免除ス

第十二條

菓子營業者ハ毎年一月一日七月一日現在雇人ノ氏名年齢ヲ取調其
月十五日限又新ニ開業スル者ハ出願ノトキ管廳ニ届出ヘシ但爾後
増員アルトキハ其時々之ヲ届出ヘシ

第十三條

菓子製造人ハ毎年其製造高及ヒ賣上金高ヲ左ノ通管廳ニ届出ヘシ
一月一日ヨリ六月三十日迄 製造高 賣上金高 其年七月十五日限

七月一日ヨリ十二月三十一日迄

製造高
賣上金高

翌年一月十五日限

第十四條

菓子製造人ハ菓子並ニ其製造原品ノ賣買ヲ帳簿ニ記載シ置ヘシ但露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ此限ニアラス

第十五條

菓子營業者ノ帳簿倉庫營業場及ヒ營業物品ハ主任官隨時之ヲ検査スヘシ

第十六條

主任官ニ於テ此規則ニ關シ犯罪アリト認知シ又ハ思料スルトキハ其場所ニ立入り證憑取調ノ處分ヲ爲スコトヲ得但其主任タルノ證票ヲ携帯スヘシ

第十七條

第二條ニ違ヒ營業鑑札ヲ受スシテ菓子營業ヲ爲シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ現在ノ菓子及ヒ製造器械ヲ沒收ス既ニ賣捌キタル者ハ其代金ヲ追徴ス

第十八條

第三條ニ違ヒ鑑札ヲ携帯セスシテ仕入又ハ出賣ヲ爲シタル者及ヒ第七條ニ違ヒ鑑札ヲ貸借賣買又ハ讓受讓渡ヲ爲シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條

第十二條第十三條ノ届書ニ詐偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條

第五條第六條第十二條第十三條ノ届出ヲ怠リタル者及ヒ第十四條ノ帳簿ニ記載ヲ怠リタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十一條

此規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

第二十二條

菓子營業者ノ家族雇人ニシテ其營業ニ係リ此規則ヲ犯シタルトキハ其營業者ヲ處罰ス

○番二番 岩崎小 本案ヲ發布ノ必要ト稅率ノ比較トハ過日醬油稅則

案ノ第一讀會ニ陳辨セシヲ以テ復タ喋辨ヲ要セス本會ニ於テハ唯新タニ菓子ニ課稅スル理由ノミヲ略陳セン抑モ菓子ノ必需物ニ屬スルト奢侈物ニ屬スルトハ姑ク措キ近年海外ヨリ砂糖ヲ輸入スル漸ヲ逐テ増加シ爲メニ内國ノ製糖業ハ日ヲ逐テ萎靡スルニヨリ保護稅ノ主義ニ倣ヒテ内國ノ製糖者ヲ保護セントセシモ條約改正ノ一事スラ未タ完結セサル今日ナルヲ以テ内國產出ト外國輸入トヲ問ハス直接ニ砂糖ニ課稅スル能ハサルニ因リ先ツ最モ多量ノ砂糖ヲ消費スル菓子ニ課稅スルノ必要タルニ至レリ是レ間接ニ砂糖ニ課稅スルト同一ナルヲ以テナリ然リ而シテ其新タニ菓子ニ課稅シテ幾許ノ收入ヲ得ヘキヤハ未タ充分ノ計算ヲ得ス殊ニ賣上高ニ課稅スル如キハ地方稅ニハ其例アルモ國稅ニハ未タ此例ヲ用ヒサル

カ故ニ果シテ豫算セル如キ收入ヲ得ルヤ否ヤハ實施ノ後ニ非サレハ確知ス可ラスト雖モ帳簿其他ノ検査ヲ嚴ニシ營業者ヲシテ信用ヲ重ンセシムルニ至ラハ隨テ賣上高ヲ詐告セサルニ至ル可シ唯其營業稅ノ一點ハ主務官ニ於テ既ニ雇人ノ員數等ヲ調査セルヲ以テ必ス豫算セル如キ收入ヲ得ヘキナリ本案ヲ發スル理由ノ大要ハ此ノ如シ各位請フ幸ニ此旨ヲ領シテ速カニ議定センコトヲ若シ疑義アラハ其質問ヲ待テ之ニ答ヘン

○五十一番 津田眞道 本案ニ對シテハ大體同意ヲ表ス内閣委員ノ説明ニ據レハ保護稅ノ主義ニ倣ヒ海外ヨリ輸入スル砂糖ニ課稅セント欲スレトモ條約改正ノ一事スラ尙未タ完結セサルニ因リ今日ニ實行スル能ハサルヲ以テ菓子ニ課稅スト云ヘリ果シテ内閣委員ノ説明

セル如ク砂糖ヲ消費スル菓子ニ課稅セントスルハ保護稅ノ目的ト抵觸スルニ非スヤ夫レ内國產ノ砂糖ト外國產ノ砂糖トヲ論セス均シク課稅スルトキハ内國ノ製糖業者ヲ保護スルトハ謂フ可ラス故ニ保護稅ノ主義ヨリシテ菓子ニ課稅スト云ヘル内閣委員ノ説明ハ本官之ヲ信セス本官ノ本案ニ同意ヲ表スルハ他ニ在ラス政府ノ歲入ノ不足ナルヨリ前キニ酒造稅烟草稅等ヲ課徵シタルモ豫期スル如ク收入ヲ得ル能ハス却テ巨額ノ不足ヲ生シ爲メニ陸海軍ヲ擴張スル能ハサルヨリ已ムヲ得ス他種ノ新稅ヲ起シテ其缺乏ヲ補充セサル可ラス故ニ此點ヨリ酒烟草等ニ課稅スルト同一ノ理由ヲ以テ本案ヲ賛成スルナリ前キニ第四百六十五號議案タル醬油稅則ノ第一讀會ニ當テハ本官之ニ對シテ不同意ヲ唱ヘシニ幾ント醬油稅則

ト類似スル菓子税則ニ對シテ同意ヲ表スルハ前後矛盾セル如クナレトモ菓子ハ醬油ノ如キ必需物ト異ニシテ酒烟草ト同ク奢侈物ニ屬スレハナリ昨十五日ハ議官會同日ナルヲ以テ大藏卿ノ參院シテ本官輩ニ此新税ヲ課スルハ萬モ已ムヲ得サルニ出ルコトヲ懇説セリ然ルニ當時之ヲ聽取セシ議官ハ凡三分ノ一二過サリシヲ以テ今其聽ク所ヲ略陳センニ曰ク客歲朝鮮京城ノ事變以來巨額ノ費用ヲ要セシモ彼ハ一時ノ事變ナレハ國債ヲ募リテ其費用ヲ償フヲ得ヘキモ我カ國威ヲ海外ニ示サン爲メナル陸海軍ノ擴張ニ要スル費用ハ年年數百萬圓ノ不足ヲ告ルヲ以テ若シ之ヲ放任ニ付セハ早晚政府ノ會計ヲ維持スル能ハサルニ至ラン故ニ已ムヲ得ス醬油税菓子税ヲ起シ尙且絹布税ヲ課スル意見ヲモ內閣ニ上申シタレハ絹布税

則議案モ他日本院ニ下付セラレ可シ新税ヲ起ス要旨此ノ如シ加フルニ目今土地ニ賦課スル金額最モ多ク地租ハ國税七分ノ四ニ當リ地方税協議費等モ亦巨多ナルヲ以テ人民其負擔ニ耐ル能ハサルヨリ或ハ土地ヲ賣却セントスルモ地券面金額ノ三分ノ一ヲ以テスルニ非サレハ購買者ヲ得サルニ至レリ土地所有者ノ困難實ニ想フ可シ故ニ漸ヲ以テ土地ニ賦課スル金額ヲ輕減シ以テ其負擔ヲ紓メントス然ルニ此ノ如クセハ勢ヒ國庫ニ不足ヲ生スルニ因リ他種ノ新税ヲ起シテ以テ之ヲ補充セサル可ラス是亦新税ヲ起ス要旨ナリ幸ニ各議官ノ此意ヲ領シ速カニ醬油税則菓子税則等ヲ議定センコトヲ請フト果シテ大藏卿ノ言ノ如クナレハ前キニ不同意ヲ唱ヘシ醬油税則モ反覆熟慮セサル可ラスト思惟ス本案即チ菓子税則ノ如キ

ハ大藏卿ノ懇説ヲ聞ク無キモ本官ハ初ヨリ之ヲ發布シテ可ナリト
信セリ何トナレハ菓子ハ食セサルモ人間ノ生活ニ妨ケ無キノミナ
ラス分量度ニ過レハ小兒ニ在テハ蛔蟲ノ患ヲ醸シ大人ニ在テハ腸
胃ノ傷ヲ致ス如キ有害物ナレハナリ況ヤ陸海軍ヲ擴張セントスル
今日ニ於テ此有害物ニ課税スルノ當然ナルヲヤ

○四十番渡邊清

本官ハ前者醬油税則ニ不同意ヲ表セシカ今又本案ニ
對シテモ不同意ヲ表セサルヲ得ス昨日日本官ノ退院後ニ大藏卿ノ參
院シテ新税ヲ起スハ萬已ム可ラサル事情ヲ懇説セリト聞クモ本官
ハ之ニ同意スルヲ得サルナリ今其理由ヲ略陳センニ凡ソ新税ヲ起
スニハ善ク其機會ヲ察セサル可ラス今ニシテ醬油菓子等ニ課税セ
ハ其影響甚タ大ニシテ人民ノ惡感觸ヲ招クヤ少小ナラサル可シ大

藏卿ハ地方税協議費等ヲ輕減スルト同時ニ新税則ヲ發布セント欲
セシモ奈何セン目下國庫缺乏ヲ告ルニ因リ先ツ醬油菓子等ノ税則
ヲ發布スト云ヘリト聞ク其言ヤ一理ナキニ非サレトモ今日府縣會
既ニ閉會ヲ告ル期ニ際ス而シテ其議定セシ事項ハ本年七月ヨリ之
ヲ施行スルナレハ本案ハ何月ヨリ實施スルヤヲ知ラサレトモ若シ
速カニ實施スルトキハ醬油菓子等ノ税目ヲ地方税ノ税目中ヨリ國
税ノ税目中ニ移ササル可ラス隨テ地方税ノ負擔ヲ増加スルニ至ラ
ン若シ今ニモ國家ニ大變動ヲ起發スル如クンハ或ハ新税ヲ起スハ
已ムヲ得サレトモ今日ハ變動ト稱ス可キ事件ヲ見ス他ニ節儉ノ方
策ヲ運ラシ以テ本案ノ發布ヲ中止センコトヲ切望ス且夫レ本官ノ
一昨年地方巡察ノ際ニモ上申シタル如ク目今ノ地方施治ニハ不急

ニ係ル者極メテ多シ今其一二ヲ舉レハ衛生委員ノ如キ其職掌ハ衛生ニ關スル統計表ヲ製スルニ過キス流行病等ノ發スル時ニハ或ハ平常ヨリハ繁劇ナレトモ是亦巡查戸長等ノ勞ヲ最モ多シトス學務委員ノ如キモ其職掌ハ僅ニ學費ヲ督促スルニ過キス然ルニ全國ニ於テ衛生委員ニ要スル費用ハ大約六十三萬圓學務委員ニ要スル費用ハ大約三十六萬圓ニシテ合計一百萬圓内外ニ達ス本官等ノ見ル所ヲ以テスレハ是レ眞ニ徒費ト謂ハサルヲ得ス然レトモ本官ハ學務委員衛生委員等ヲ全ク無用ノ者ト視ルニ非ス唯體裁ヲ節ルニ馳ルノ傾向ヲ嫌フノミ且ヤ學事ノ如キハ假令今日其費用ヲ節約スルモ退步ヲ來スコト無ラシ畢竟學事ニ巨額ノ費用ヲ要スルハ都鄙畫一ノ學政ヲ布クノ一事其大原因ト爲レル者ノ如シ故ニ此等ノ弊習

ヲ矯正シ其費用ヲ節約セハ新稅ヲ起スヲ要セサル可シト思惟ス又假令新稅ヲ起スモ納稅者ノ逃脫ヲ謀ル爲メニ検査官ノ煩勞ヲ増シ其得其失相償ハサルヤ必セリ加フルニ本案ハ半年分ノ賣上金高三十圓未滿ノ者ハ其製造稅ヲ免除スル明文ヲ掲クルニ因リ其部内ニ入ル者甚タ多カル可キヲ以テ其收入ハ啻ニ豫期スル如ク四十萬圓ニ達スルヲ得サルノミナラス十萬圓内外ニ止マル可シト思惟ス然レトモ既ニ地租地方稅等ヲ減シテ後本案ヲ發スルナレハ猶ホ可ナレトモ未タ然ラスシテ今日之ヲ發スルハ得策ニ非ス故ニ本官ハ本案ヲ視ル醬油稅則ヨリハ稍ヤ可ナリト爲スモ時機宜キヲ得スト信スルヲ以テ切ニ本案ノ發布ヲ中止センコトヲ望ム

出席

內閣委員 番外參事院議官 穴戶

璣

○十八番柴原和

本官ハ本案ニ同意ヲ表ス醬油稅則案ノ第一讀會ニ當テハ醬油ハ日用品ナルニ之ニ課稅スルトキハ人民ニ惡感觸ヲ來サント思惟シ不同意ヲ表セシモ本案ニ對シテハ醬ニ同意ヲ表スルノミナラス其稅額ハ尙ホ加重スルモ可ナリト思惟ス然レトモ今回ハ新創ニ係レハ斯ノ如ク輕キニ出ルモ漸次ニ酒造稅則ノ如ク重キヲ加ヘテ可ナラン抑モ今日奢侈物ト云ヘハ酒菓子ノ二物ヲ主トス世俗ノ酒ヲ嗜ム者ヲ上戸ト稱シ菓子ヲ嗜ム者ヲ下戸ト稱スルヲ以テ徵ス可シ現ニ酒ヲ嗜ム者ハ酒ヲ飲ミ酒ヲ嗜マサル者ハ菓子ヲ喫スル慣習ナレハ酒ニ課稅シテ菓子ニ課稅セサレハ或ハ權衡ヲ失セン昨日大藏卿ノ言ニ陸海軍備ヲ擴張スル爲メニ向キニ酒造稅烟草稅等ヲ増課セシモ其收入ハ豫期ノ金額ニ達セスト云ヘリ故ニ本官ハ

速カニ本案ヲ施行シテ國庫ノ不足ヲ補充センコトヲ望ム又大藏卿ノ言ニ郡區長ノ給料ハ現ニ國庫ヨリ支辨スルモ郡區書記ノ給料ハ尙ホ地方稅ヨリ支辨ス是レ均シク國庫ヨリ支辨セサル可ラスト本官モ之レト同感ナリ只今四十番ハ學務委員衛生委員ノ費用ニ關シ陳辨セル有リシ此等モ宜ク務メテ節減ヲ加フヘキナリ學務委員ノ事ニ關シテハ大藏卿ヨリ文部卿ニ照會シ其規則ヲ改メントスト聞ク本官亦之レト同感ナリ望ラクハ其速カニ施行スル有ランコトヲ某議官ハ醬油稅菓子稅ヲ地方稅ノ稅目中ヨリ除去スルトキハ地方稅ノ負擔ヲ増ス可シト云フモ是レ僅少ノ金額ニ過キスト聞ク假令府縣會ニ於テ既ニ議定セルモ常置委員會便宜ニ處置ス可キノミ故ニ本官ハ此等ノ點ヲ憂慮セスシテ本案ヲ賛成スルナリ

○二十四番 榷取素彦 醬油稅則ハ本案ト同時ニ本院ニ下付セシ者ナリ而シテ醬油ハ日常一日モ缺ク可ラサル需用物ナレハ課稅スルヲ欲セサリシモ昨日大藏卿ノ演述ヲ聞キ他ニ國庫ノ急乏ヲ救フ可キ方圖ヲ得サルヲ以テ泣ヲ垂レテ之ヲモ賛成セサル可ラスト思惟ス本案菓子ノ如キハ酒烟草等ト同ク奢侈物ニシテ課稅スルモ素ヨリ妨ケ無ラン故ニ一言賛成ノ意ヲ表ス

○十四番 大鳥圭介 本官ハ菓子ニ課稅スルハ醬油ニ課稅スルヨリモ課スルニ易シト思惟スルヲ以テ本案ヲ賛成ス但シ聊カ疑點ヲ內閣委員ニ質サン第一問ハ第一條ニ菓子營業者ヲ三種ニ分ツトノ明文ヲ掲ケリ然ルニ第三條第四條ニ仕入出賣等ノ事項ヲ掲クル以上ハ或ハ重複ニ涉ル如キ着ヲ呈ス仕入トハ卸賣人ノ製造人ヨリ仕入ヲ爲ス

等ノ事ヲ言フニ在ルカ第二問ハ第二條ニ二種或ハ三種ノ營業ヲ兼ヌル者云云ト言ヘリ個ハ是レ製造人ノ店頭ニ於テ小賣ヲ爲ストキハ製造ト小賣トノ二業ヲ兼ヌルト言フニ在ルカ第三問ハ第十一條ニ製造稅トシテ菓子賣上金高百分ノ五ヲ納メシムル明文ヲ掲ケリ是レ如何ナル方法ヲ以テ精密ニ調査スルヲ得ルカ以上ノ三問ヲ說明センコトヲ望ム

○外三番 神鞭知常 十四番ノ質問ニ答ヘン第一問ノ營業鑑札ハ其人ノ菓子營業人タルヲ證スル爲メ仕入鑑札出賣鑑札ハ仕入及ヒ出賣ノ際ニ携帯セシムル爲メニ下付スル者ニシテ烟草稅則ト同例ナリ又其鑑札料ハ徵稅ノ主義ヨリ出テタルニ非ス即チ鑑札製造ノ實費ニ充ルニ過キス第二問ハ菓子ヲ製造シテ需用者ニ賣ル以上ハ製造人ノ

鑑札ト小賣人ノ鑑札トヲ受ケサル可ラス是亦烟草稅則ト同例ナリ
製造人ハ概ネ小賣人ヲ兼ヌ現ニ彼ノ風月堂ノ如キモ製造ト小賣ト
ヲ兼ヌ第三問ノ第十一條ニ關スル事項ハ番外ニ番モ陳述セシ如ク
到底精密ノ調査ヲ得ルノ難カル可キヲ察シ百方考慮セシモ他ニ良
方ヲ得サルヲ以テ已ムヲ得ヌ本案ノ如クセリ故ニ最初ハ帳簿ノ記
載ヲ脱落スル有ル可キモ先ツ此方法ヲ設ケ以テ帳簿ニ記載セシム
ル者ト爲セシナリ但シ地方稅等ノ實例ヲ以テスルモ前日ハ賣上金
高ヲ帳簿ニ記載スルニ務メテ其數額ヲ減少セシ者アリシモ近時ハ
却テ賣上金高ノ多キヲ誇張スルニ傾向ス故ニ其調査ハ前日ニ在テ
ハ困難ナリシモ今日ハ略ホ整頓シタレハ先ツ此方法ヲ用ヒントス
要スルニ製造稅ハ豫期ノ如ク徵收スルヲ得ルヤ否ヤヲ知ラサレト

モ營業稅ハ確ニ徵收スルヲ得ルト信スルナリ

○九番 三浦安

本案ヲ賛成ス既ニ酒烟草等ニ課稅スル以上ハ菓子ニ課
稅スルハ當然ナリ聊カ內閣委員ニ質問セン第八條ニ製造營業稅
賣營業稅、小賣營業稅ヲ雇人ノ員數ニ應シ納メシムル明文ヲ掲ケリ
是レ男子婦女ヲ別タサルカ將タ男子ノミニ限ルカ又雇人トハ菓子
營業ニ從事スル雇人ノミヲ言フカ將タ菓子營業ニ關係セサル雇人
ヲモ包括スルカ本官ハ菓子營業ニ從事スル雇人ノミヲ指ス者ト信
ス果シテ然ルヤ是等ハ定メテ應サニ細則等ニ明示スルナルヘキモ
此解釋ノ明瞭ナラサレハ本案ヲ議スルニ困シムヲ以テ一辨スルヲ
煩ハス其他第十九條ニ第十二條第十三條ノ屆書ニ詐僞ノ記載ヲ爲
シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處スト言ヘル明文ヲ掲

クルモ第十二條ノ罰ハ重キニ失シ第十三條ノ罰ハ輕キニ失スルニ似タリ尙ホ第二讀會ニ修正說ヲ提出ス可キモ請フ今先ツ前陳ノ疑問ヲ釋明セヨ

退席

二十三番

鍋島 直彬

○外三番 神鞭 知常

九番ノ質問ニ答ヘン第八條ノ雇人ト言ヘルハ男子ト婦女トヲ論セス而シテ其菓子營業ニ從事スル者ニ限ルハ九番ノ所見ノ如シ即チ小賣、卸賣、製造ニ關係スル雇人ヲ謂フナリ

○十六番 伊丹 重賢

國庫ノ缺乏ヲ補フ爲メニ新稅ヲ起スハ已ムヲ得サルノミ復タ其有害物ニ課スルト無害物ニ課スルトヲ問フニ暇アラス然レトモ日常ノ必需物ニ課稅スルハ之ヲ他日ニ讓ルカ若クハ課稅セサルヲ望ム菓子ノ如キハ奢侈物ナレハ之ニ課稅スルモ不可ナル

無シ但シ菓子ト云ヘハ其意味廣濶ニシテ界域ヲ判知スルニ難カラシ本官先年豐太閣桃山城會席書ヲ閱セシコトアリシニ菓子ノ部中ニ搗栗落雁等ヲ記載セリ然ルニ搗栗ノ如キハ砂糖ヲ用ヒサル者ナルヲ以テ本案ニハ關係セサル可キモ或ハ菓子ノ部中ニ入ルト否トノ界域ヲ知ル能ハサル者アラン例スレハ彼ノ官内省御用達ナル黒川某又ハ有名ナル風月堂等ニ於テ製造スル者ハ其界域判明ナル可キモ麴菓ノ製造人即チ俗ニ所謂駄菓子屋ノ製造品中ニハ其菓子ナルヤ菓子ナラサルヤヲ知ル能ハサル者アラン少シク極點ニ馳スル如クナルモ試ニ一例ヲ設ケテ内閣委員ニ問ハン驛村ノ路傍等ニ於テ怪シケナル茅屋内ニ老婆ノ兀坐シテ糸ヲ繰リ店頭ニ數足ノ草鞋ヲ懸ケ其下ニ菓子ニ似テ菓子ニ非ス菓子ニ非サルニ似テ菓子ニ似

タル如キ食物ヲ列子以テ旅人ノ休憩ニ供スル者アリ此等モ第二條ニ從ヒ管廳ニ出願シ菓子小賣人ノ營業鑑札ヲ受ケ第四條ニ從ヒ營業鑑札料金貳拾錢ヲ納メ第八條ニ從ヒ雇人ナキ者一箇年金壹圓ト言ヘルニ照シテ納稅セサル可ラサル乎本官ハ是等ハ此規則ニ依ラスシテ可ナラシト思考スレトモ其果シテ然ルヤ否ヤヲ知ル能ハス曾テ酒造稅則ヲ議スルヤ蕎麥店等ニ於テ客人ノ需求ニ應シ一合若クハ二合ノ酒ヲ飲マシムルモ酒類小賣營業ノ鑑札ヲ受ケシムル云云ノ事ニ關シ大ニ論議ノ紛起シタルヲ記憶セリ前陳驛村路傍ノ老婆輩カ賣ル所ノ食物ノ如キハ如何カ之ヲ處スル乎

○外三番神鞭 十六番ノ質問ニ答ヘン驛村路傍ノ茅屋ニ於テ旅人ノ休憩ニ供セン爲メニ店頭ニ列スル食物ノ若シ菓子ナランニハ此稅

則ニ據ラシメサル可ラス初メ主務省ニ於テ菓子ト菓子ニ非サル食物トノ界域ヲ定メントセシモ之ヲ定ムル能ハサリシ又若シ菓子トハ某某等ノ物品ヲ謂フト云フ如キ簡單ノ釋義ヲ附スルトキハ逃脫ノ患害ヲ招カントス故ニ界域ノ釋義等ハ今日之ヲ定メサルコトニ決セリ然レトモ果實ノ如キハ菓子ノ部中ニ入ラサレトモ之ヲ以テ砂糖漬ト爲ストキハ菓子ノ部中ニ入ル者ト爲セリ但シ詳細ノ區別ハ府縣ノ伺出ヲ待チ主務省講究ヲ加ヘテ指令セントス彼ノ驛村路傍ノ茅屋ニ於テ菓子若クハ菓子ニ類似セル食物ヲ賣ル者ノ如キ之ヲ視テ菓子營業人ト做スハ愍諒ス可キヲ以テ百方考慮ヲ下シタレトモ遂ニ良案ヲ得ス本員ノ住居スル澁谷村ノ近傍ニハ間マ老翁老婆輩ノ菓子ノ如ク菓子ニ非サル如キ食物ヲ店頭ニ陳列セル有ルモ

此等ハ本案ヲ發布セハ自ラ露店又ハ呼賣ノ部ニ屬シ篋箆ヲ張り椽臺床几等ヲ排置シテ以テ營業スルニ至ル可ク又第十一條ニ掲クル「半年分ノ賣上金高三拾圓未滿ノ者」ト言ヘル部中ニ入ルノ恩澤ヲ蒙ラシムルヲ得ヘキナリ

○三十五番 細川潤次郎 本官ハ喜シテ本案ヲ賛成スルニ非サレトモ今日ノ財政上萬已ムヲ得サル有ルヲ以テ之ヲ賛成ス只今十六番ノ質問セル所ハ恰モ本官ノ疑點ト同一ナル如ク思惟セシニ其結末ニ至リ然ラサリシニ因リ聊カ本官ノ疑點ヲ内閣委員ニ質サン内閣委員モ菓子ノ界域ハ之ヲ定ムル極メテ難シト云ヒ本官モ亦實ニ其然ル可キヲ信ス然レトモ世俗ニ所謂水菓子ノ如キハ菓子ト言フ食物ノ部中ニ包含セサル可ク菓子ト言フ食物ハ全ク砂糖ト穀類トヲ混和シ

テ製造セル者ヲ謂フナル可シ果シテ然ラハ汁粉團子、萩ノ餅、牡丹餅ノ如キハ菓子ト謂ハサル可ラサルニ似タリ是等ハ主務省ニ於テ一一府縣ノ伺出ヲ待テ指令セントスルカ或ハ豫メ指示セントスルカ本官ハ普通民間ニ於テ菓子屋ト稱スル者ノ賣ル食物ニ止マル可シト思惟スレトモ菓子屋ニ於テ賣ル食物ニ止マラス割烹店ニ於テ羊羹等ノ食物ヲ製造スル有ルハ如何カ之ヲ處スルヤ彼ノ鹽煎餅ト稱スル食物ノ如キモ其塗擦スル醬油ニハ砂糖ヲ混和セル有リ此等ハ菓子ノ部中ニ入ルルヤ

○外三番 神鞭 知常 本案ニ掲クル菓子ナル文字ハ彼ノ水菓子ト稱スル種類ヲ包含セサルハ論ヲ待タス團子、萩ノ餅、牡丹餅モ菓子ノ部中ニ入ラス汁粉ノ如キモ亦タ菓子ノ部中ニ入ラサレトモ懷中汁粉ト稱

スル者ハ菓子ト看做スナリ此等ハ地方官ヨリ詳細ニ伺出ルヲ待チ
テ之ニ指令シ且各地方ニ通示セントス

○三十六番榎村正直

本官モ大體上本案ヲ賛成ス但一二ノ質問ヲ要ス第

一ニ本案ノ收入ト從來ノ地方税ノ收入トノ差異ハ幾計ナリヤ第二
ニ雇人ノ男女ヲ問ハサルハ九番ト番外三番トノ問答ニ因テ解得シ
タレトモ第八條ニ二業以上ヲ兼子タル營業人ノ雇人ハ各業ヲ別々
ス合算スルコトヲ明言セリ例ヘハ此ニ製造營業人ニ雇人十人アリ
トスレハ一箇年ニ營業税金二十圓ヲ納ム可キナリ然ルニ此製造營
業人ニシテ小賣營業ヲ兼ヌレハ雇人三人以上アル者一箇年金七
圓ト言ヘル明文ニ據リ合セテ二十七圓ヲ納メ製造營業人ニシテ
雇人二人以下アル者ハ一箇年ニ營業税金五圓ヲ納メ而シテ小賣ヲ

兼ヌルトキハ雇人二人以下アル者一箇年金三圓ト言ヘル明文ニ
據リ合セテ八圓ヲ納メサル可ラサル乎

○外神三番知常

三十六番ニ答シ第二問ノ第八條ノ二業以上云云ハ其

税額多キ者ノ一箇ニ對シ納税セシムルニ在リ第一問ノ收入額ノ差
異ハ未タ詳細ノ計算ヲ得サレトモ第十一條ニ掲クル製造人賣上金
高一箇年七百萬圓餘ト看做ストキハ製造税トシテ其金高百分ノ五
即チ三十五萬三千圓餘ヲ收入スルヲ得ヘク第八條ニ掲クル營業税
ハ大凡十三四萬圓ナル可ケレハ合計四十七八萬圓ヲ收入スルヲ得
ヘシ然ルニ從來ノ地方税ハ僅ニ五六萬圓ニ過キサレハ少ナクモ大
約四十萬圓ノ收入ヲ増サントス

○十八番柴原和

本官ハ初メ疑惑ヲ懷カサリシニ番外三番ノ十六番ニ

答フル辨明ニ關シ疑惑ヲ生セリ所謂驛村ノ路傍ニ怪シケナル茅屋ニ於テ老婆輩ノ菓子ノ如ク菓子ニ非サル如キ食物ヲ賣ル者ニ課税スルノ愍諒ス可キハ本官モ同感ニシテ本官ハ此等ノ場所ニ於テハ假令羊羹其他ノ上等品ヲ賣ルモ買フ者ナカル可ク多分ハ栗梨團子、菥ノ餅等ヲ賣ルニ止マル可キヲ以テ本案ヲ發スルモ里慮ヲ要セスト思惟セシニ番外三番ハ露店呼賣ノ點ニ於テ其營業稅製造稅等ヲ免除セラレ俗間ニ所謂篋簀張ニ於テ營業スルニ至ル可シト言ヘリ果シテ番外三番ノ云フ如クナレハ風月堂等ニ在テモ椽臺床几ヲ店前ニ排置シ本店ヲ離レテ自己ノ製造スル菓子ヲ賣ルトキハ露店營業人ト看做シテ其營業稅製造稅等ヲ免除ス可キヤ番外三番ノ言ハ甚々疑フ可キナリ

○外三番神鞭知常 本員カ前二十六番ニ答ヘシハ只今十八番ノ質問セル如キ意思ヲ以テシタルニ非ス故ニ更ニ一辨シテ十八番ノ疑ヲ解カシ篋簀張ニ於テ菓子ヲ賣ルハ小賣營業人ニ限ル可ク風月堂ノ如キ有名ノ菓子營業人ニシテ本案ヲ發布セシ爲メニ特ニ露店ヲ設ケテ營業ヲ爲ス者ハ恐クハ之レ無ル可シ彼ノ驛村路傍ノ茅屋ニ於テ食物ヲ陳列シ旅客ノ休憩ニ便スルモ其賣ル食物ノ果シテ菓子ナランニハ事情愍ム可キモ菓子營業人ト看做ササルヲ得ス然レトモ一日ニ五六錢乃至十錢許ヲ賣ル者ハ多クハ篋簀張ニ變ス可シ若シ夫レ菓子ノ性質等ノ如キハ過刻十六番ニ答ヘタルヲ以テ再ヒ贅セス

○十八番柴原和 番外三番ハ本官ノ質問ヲ誤解セルニ似タリ本官ハ團子、菥ノ餅、牡丹餅等ハ固ヨリ菓子ニ非スト信ス故ニ彼ノ怪シケナ

ル茅屋ニ於テ菓子ニ非サル食物即チ團子萩ノ餅牡丹餅等ヲ賣レハ
免稅ニ付スルノミ番外三番ハ椽臺床几等ヲ路傍ニ排置シテ菓子ヲ
賣レハ營業稅製造稅ヲ免除セラル可シト云ヘルヲ以テ質疑セシナ
リ

○三番 箕作麟祥

本官ハ醬油稅則案ノ第一讀會ニハ不同意ヲ唱ヘシモ本
案ニ對シテハ不同意ヲ唱ヘス只聊カ一事ヲ質問セン露店又ハ呼賣
ヲ業ト爲ス者ヲ限外ニ置クハ第八條第十一條第十四條ニ明文ノ存
スルモ第十三條ニハ其明文ヲ見ス然ルニ第十三條ハ製造高及ヒ賣
上金高ヲ管廳ニ届出ヘシト言ヒ而シテ此届出ヲ怠レル者ハ第二十
條ニ據テ一圓以上一圓九十五錢以下ノ料料ニ處ス然ルニ露店呼賣
ヲ業ト爲ス者ト雖モ第十三條ノ届出ヲ爲サシムルカ又其届出ヲ怠

ルトキハ第二十條ニ據リ罰ニ處スルカ

○外三番 神輿知常

三番ノ質問ニ答シ第十三條ニハ露店呼賣ヲ業ト爲ス
者ヲ含蓄セス其精神ハ第十四條ニ同シ又半年分ノ賣上金高三十圓
未滿ノ者ハ課稅ヲ免スルモ届出ヲ爲サシムルヲ要スルナリ

○四番 田中芳男

各官ノ論辨ト内閣委員ノ説明トヲ聞キテ粗ホ領會シタ
レトモ三十五番ノ質問ニ對スル内閣委員ノ答辨ニ關シ聊カ質問ア
リ内閣委員ハ菓子ノ界域釋義等ハ府縣ヨリ主務省ニ伺出ルヲ待チ
テ之ニ指令シ且各地方官ニ通示スト云ヘリ然レトモ今ヤ本案ヲ議
スルニ當テ其界域ヲ知ルヲ得サルハ遺憾ナリ敢テ問フ餡ハ砂糖ヲ
用ヒサルニ因リ菓子ニ非サルヤ「ビスケット」ハ麵包ニ屬シテ菓子
ニ非サルヤ菓子麵包ト稱スル者ハ菓子ニ屬スルヤ「シヤム」「セリ」

等ノ如キモ亦菓子ニ屬スルヤ此等ノ界域ノ判明ナラサレハ本案ヲ
議定スルニ苦シム請フ内閣委員ノ明カニ釋說センコトヲ

○番二番岩崎小 外 菓子ノ界域ニ關シテハ内閣ニ於テモ種種ノ議論ヲ

生シ最初ハ砂糖ヲ用ヒタル者ヲ菓子ト稱セントセシニ蜜又ハ飴ヲ
以テ製造スル菓子アリ及ヒ「シヤム」セリ」等ノ如キ者アレハ寧ロ
菓子ノ資格ヲ法律ニ定ムルハ不可ナリ故ニ今日普通ニ菓子ト稱ス
ル者ヲ菓子ト看做スコトニ決セリ鹽煎餅ノ如キハ菓子ニ入レサル
ハ論ヲ待タス今此ニ調査書類ヲ携帯セサルモ菓子ノ資格ニ關スル
調査ハ概畧整頓セリ從來ノ事例ニ照スモ本案ヲ發布スルトキハ各
地方ヨリ相續キテ伺出ヲ爲スコク其際主務省ニ於テ熟議シ若シ決
スルニ難キ者ハ裁定ヲ内閣ニ請ントス若シ本院ニ於テ十分ニ界域

釋義等ヲ定メントナラハ本員等ハ敢テ抗辨セサルノミナラス頗ル
之ヲ希望スルナリ

○二十四番楯取 素彦 内閣委員ニ問フ病院旅店温泉場等ニ入り菓子ヲ需

求者ニ賣ル者アリ斯ノ如キハ多クハ生計ニ苦シム細民ノ爲ス所ナ
リ此等ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ト看做ス乎將タ小賣人ト看做ス乎

○番二番岩崎小 外 呼賣ヲ業ト爲ス者ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ト看做スナ

リ然レトモ自家ニ於テ營業ヲ爲シ而シテ出賣ヲ爲ス以上ハ出賣鑑
札ヲ携帯ス可ク其呼賣ヲ爲スニ旅店劇場角力場等ニ限ル者ハ第八
條ニ據テ呼賣ヲ業ト爲ス者ト看做シ其營業稅ヲ免除ス

○三番箕作 麟祥 本官ハ第十三條ノ質問ニ對スル内閣委員ノ答辨ヲ得タ

ルニ因リ此條ニ修正ヲ加ヘント欲スル意見ヲ有ス抑モ本案ハ某議

官ヲ除キ其他ニ不同意ヲ表スル議官ナキヲ以テ之ヲ觀レハ大體ハ
 議場ノ可認セル所ナル可シ然レトモ其條項ノ如キハ到底多少修正
 ヲ加ヘサル可ラサルヲ以テ本官ハ例ニ依リ修正委員ヲ設ケ全部ノ
 修正ヲ付託スルヲ可ナリト思考ス且假令修正委員ヲ選ムモ必シモ
 修正ヲ要スルナラス若シ修正ヲ加フルヲ要セスト認メハ原案ニ從
 フテ報告スルモ不可ナル無シ前キニ醬油稅則案ノ第一讀會ニハ調
 査委員ヲ置ントスル説出タレトモ本官ハ廢棄ニ付ス可キ議案ヲ調
 査スルヲ要セスト思惟シテ其説ニ同意セサリシモ本案ハ各議官共
 ニ大體ニ同意セルヲ以テ修正委員ヲ置ンコトヲ建議ス委員ノ數ハ
 三名ト爲スモ五名ト爲スモ議長ノ意見ニ任カス必シモ投票ヲ以テ
 之ヲ選ムヲ要セス是亦議長ノ擇定ニ任セント欲ス

○議長 他ニ質議又ハ大體ニ關スル發議ナクハ第一讀會ハ此ニ畢ル
 各官モ聞ク如ク三番ヨリ全部付託修正委員ヲ設クル建議ヲ爲セリ
 此建議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十九人

○議長 多數ナルヲ以テ三番ノ建議セル如ク全部付託修正委員ヲ置
 クニ決ス但其員數ハ五名ト定メ投票ヲ以テ之ヲ選マン

○番二番 岩崎小 外二番 二郎 本案ハ急施ヲ要スルヲ以テ午餐後ニ修正委員會ヲ
 開カンコトヲ望ム

○議長 可ナリ選定後ニ修正委員ニ通知セン

投票執行

○議長 得票ノ多數ヲ以テ三番箕作 麟祥四番田中 芳男九番三浦 安十八番柴原 三和

十六番 横村正直 ヲ以テ全部付託修正委員ト爲ス内閣委員ヨリ本案ハ急施ヲ要スルヲ以テ午餐後ニ修正委員會ヲ開カンコトヲ請求セリ委員各位ノ此意ヲ領シテ速ニ修正ニ從事センコトヲ望ム其報告ヲ待テ第二讀會ヲ開カン且告ク明十七日例刻ヨリ第四百六十五號議案ノ第二讀會ヲ開カン本日ハ散會セヨ

午後零時二十分閉場

元老院會議筆記明治十八年四月二十三日

禁傍聽

○第四百六十六號議案 菓子稅則 第二讀會

議長 東久世通禧

出席議員

- | | | |
|----|----|----|
| 二番 | 小畑 | 美稻 |
| 三番 | 箕作 | 麟祥 |
| 四番 | 田中 | 芳男 |
| 五番 | 青山 | 貞 |
| 八番 | 西 | 周 |
| 九番 | 三浦 | 安 |
| 十番 | 福原 | 實 |

十一番	長松	幹
十三番	西村	貞陽
十四番	大鳥	圭介
十五番	長岡	護美
十六番	伊丹	重賢
十八番	柴原	和
十九番	籠手田	安定
二十三番	鍋島	直彬
二十四番	楫取	素彦
二十六番	鍋島	幹
二十七番	壬生	基修

二十八番	神山	郡廉
三十一番	上杉	茂憲
三十二番	宮本	小一
三十三番	橋口	兼三
三十五番	細川潤次郎	
三十六番	榎村	正直
三十七番	神田	孝平
三十八番	岩村	定高
三十九番	大久保	一翁
四十番	渡邊	清
四十一番	町田	久成

- 四十四番 由利 公正
- 四十五番 河田 景與
- 四十六番 田邊 太一
- 四十八番 中島 錫胤
- 五十一番 津田 眞道
- 五十二番 野村 素介
- 五十四番 村田 保
- 五十五番 久我 通久

内閣委員 一番外 参事院議官 穴戸 璣
 同 三番外 参事院員外議官補神鞭 知常

午前第九時五十分開場

○議長 本日ハ第四百六十六號議案ノ第二讀會ヲ開ク下付原案ト修正報告案トノ孰レヲ本案ト爲シテ議定ス可キヤノ決ヲ取シ

○十八番 柴原和 原案ト修正案トノ議題取決以前ニ修正委員ノ資格ヲ以テ修正ノ理由ヲ略陳セン第二條ノ「或ハ三種」ヲ「以上」ニ改メシハ文字ノ潤飾ニ過キス蓋シ第一條ニモ「菓子營業者ヲ分テ左ノ三種トス」ト平頭ニ列舉スルヲ以テナリ第八條ノ修正モ亦此例ニ由ル第三條ノ「家族」ノ下ノ「又ハ」ヲ削リ「申出」ヲ「願出」ト爲セシハ文字ノ妥當ナルヲ欲スルニ在リ且本案ハ内閣委員モ説明セル如ク其主義全ク煙草稅則ニ據レル者ナルヲ以テ煙草稅則第六條ニ從フタリ第四條ノ「受」ノ下ニ「ク」ヲ加ヘ第五條ノ「ノ節」ヲ「セシトキ」ニ改メタルモ亦同シ第六條ノ修正ハ他ノ各條ニ倣ヘルノミ第八條ノ修正ハ第

二條ニ關シ述タル如ク其「一箇」ヲ削リシハ蛇足ナルカ爲メナリ「年
 齡十五歲未滿」云云ヲ削除セシハ或ハ苛酷ニ似タレトモ思フニ菓
 子營業人ノ雇人ニハ少年者ヲ多シトス是レ其業作タル敢テ筋骨ニ
 頼マス專ラ熟練ニ憑ル其熟練ハ十四五歲ノ少者却テ大人ニ優ル有
 リ聞ク内閣及ヒ參事院ニ於テモ十五歲未滿ノ雇人ハ其税金ヲ半減
 ト爲ス可シトノ論出タリシト而シテ内閣委員モ寧ロ之カ削除ヲ稱
 賛セリ且又本稅則ヲ制定スルハ可ナレトモ徵收ノ手數煩冗ナレハ
 得失却テ相償ハサラントス聞ク既ニ參事院ニ在テモ此手數ノ爲メ
 ニ得失差ヲ見ストノ論理ヲ推シテ廢案說ヲ唱道セリト故ニ十五歲
 未滿ノ雇人モ之ヲ算入スルヲ可トス若シ少年者ノ業作ニ便ナラサ
 レハ菓子營業人ノ之ヲ雇ハサル可キノミ第十七條ノ「員數」ノ二

字ヲ加ヘシハ課稅ノ準則ニ必要ナルニ由ル「年齡」ノ二字ヲ削リシ
 ハ第八條ニ照應スル爲メニシテ「爾後」ノ二字ヲ削リシモ亦第八條
 ニ「一箇」ノ字ヲ削リシト同ク蛇足ナル爲メナリ第十三條ニ但書ヲ
 加ヘタルハ第十四條ニ但書ヲ附シテ露店呼賣ヲ業ト爲ス者ヲ例外
 ニ置キタルヲ以テ本條ニ但書ヲ缺クトキハ獨リ本條ニ於テノミ例
 外ニ置カサルノ看ヲ爲ス故ニ其意義ヲ明カニスル爲メニ之ヲ加ヘ
 タリ「製造高賣上金高」ナル割註ヲ削リシハ既ニ本文ニ同一ノ文字
 アレハ之ヲ削リテ「ノ分」ノ一字ヲ補ハハ足レリトス第十五條ノ修
 正ハ其必ス然ラサルヲ示シテ以テ寬和ニ付ス是亦煙草稅則ニ據レ
 ルナリ第十七條モ同ク煙草稅則ニ倣ヘリ罰金ハ稍ヤ原案ヨリ重キ
 ヲ加ヘシモ是レ却テ權衡其當ヲ得タリトス第十八條ノ「ヲ爲」ヲ削リ

シハ文字ノ妥當ナルヲ欲シ第十九條ノ「又ハ第十四條ノ帳簿」ヲ加ヘシハ原案ノ遺漏ヲ補ヘルノミ是レ内閣委員モ修正委員席ニ在テ明言セシ所ニシテ第十八條ト第十九條トノ位置ヲ變換セシ事實ノ以テ順序ニ由ラス罰例ノ輕重ニ由リテ其前後ヲ正セシナリ以上ノ修正ハ下付原案ノ旨趣ヲ變セスシテ擴充補足セルノミ但シ「年齡十五歲未滿」云云ヲ削リシト罰則ニ重キヲ加ヘシトノ二修正ハ原案ト異ナレトモ實際ノ事實ト煙草稅則ノ成例トニ依リテ參酌折衷シタルナリ若シ夫レ菓子其物ノ界域ニ關シテハ一定ノ釋義ヲ按セシモ終ニ完全ナルヲ得ス立案者モ此事ニ關シテ種種工夫ヲ費シタリト聞キ以テ其草案ヲ一見セシモ亦完全ナラス是ヲ以テ終ニ中止ニ付セリ又布告案ニ對シテモ種種討論シ函館縣ノ如キハ之ヲ除カ

ント欲セシモ他ノ稅則皆悉ク然ルヲ以テ之ヲ罷メリ要スルニ新創ノ課稅ナレハ實施經驗ノ後ニ弊害ヲ生スルヲ見テ矯正セハ可ナルノミ本案修正ノ理由此ノ如シ敢テ望ム修正案ヲ議題ト爲サンコトヲ

○議長 原案修正案孰レヲ本案ト爲シテ議ス可キヤヲ問ハン即チ修正案ヲ以テ本案ト爲スニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者三十四人

○議長 多數ナルヲ以テ修正案ヲ議題ト爲シテ議定スルニ決ス

書記官 森山 朗讀

布告案

菓子稅則別紙ノ通制定シ 年 月 日ヨリ施行ス

但東京府管轄伊豆七島小笠原島函館縣沖繩縣札幌縣根室縣ハ當分之ヲ施行セス

右奉 勅旨布告候事

○議長 本案ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者三十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

菓子税則

第一條

菓子營業者ヲ分テ左ノ三種トス

菓子製造人

菓子ヲ製造シ之ヲ菓子營業者ニ賣渡ス者ヲ云フ

菓子卸賣人

菓子ヲ買入レ之ヲ菓子營業者ニ賣渡ス者ヲ云フ

菓子小賣人

菓子ヲ需用人ニ賣渡ス者ヲ云フ

○十六番

伊丹重賢

本條ヲ修正セン只今修正委員ノ一人ヨリ詳ニ修正ノ

理由ヲ陳述シ「種」ト云ヒ「業」ト云フ如キ混淆ヲ一定シテ「種」ニ改メ

特ニ第十三條ニ但書ヲ加ヘテ露店呼賣ヲ業ト爲ス者ヲ本案外ニ置

ク如キハ最モ欣喜ニ堪ヘサル所トス第一讀會ニモ述タル如ク此種

ノ營業人中ニハ山間野外ノ怪シケナル茅屋ニ住スル老翁老婆ノ些

少ノ粗菓ヲ陳列シテ以テ之ヲ旅人ニ賣リ薄利ヲ得テ生命ヲ繫ク有

リ是等ヲ菓子營業人ノ範圍内ニ入レ第二條ノ手續ヲ經テ鑑札ヲ受

ケ第四條ノ鑑札料ヲ納メ第五條第六條ノ各般ノ手續ヲ爲サシムル

ハ實ニ堪ル所ニ非ス内閣委員ハ是等ヲ露店呼賣ノ部類ニ入ルト云

フモ法律上ニ於テ苟モ菓子營業人ト定ムル以上ハ恐クハ然ルヲ得
 サラン又菓子ノ種類ニ關シテハ前會ニ團子、萩ノ餅、鹽煎餅等ハ菓
 子ニ非スト論スル有リシモ到底其區別ヲ立ルニ難カラシ本官ハ熱
 心以テ貧窶無告ノ老翁老婆ヲ本案外ニ置シコトヲ望ム修正委員中
 曾テ地方長官ニ任セシ一人ノ説ヲ聞クニ往年酒稅ノ初メテ行ハレ
 タルヤ一日ニ一升二升ノ零賣ヲ爲ス如キ微賤ナル酒店ニモ小賣鑑
 札ヲ戸前ニ掲ケリ地方官ノ之ヲ見ル實ニ惻然ニ堪ヘス熱セサルニ
 汗セリト云ヘリ故ニ本案ハ戸長輩ノ參酌シ地方官ノ寬假ス可シト
 云フモ然ル如キハ不公平ノ誹ヲ免レス他ノ納稅者ハ必ス不平ヲ鳴
 サントス即チ假令其無稅營業ヲ告發セサルモ自然ニ嗷嗷苦情ヲ訴
 ヘ爲メニ終ニ寬假ス可ラサル事情ヲ致スニ至ラン彼ノ密賣淫ノ如

キモ官府ニ於テ探索センヨリハ遊廓ノ營業人ノ探索スルヲ最モ功
 効アリト聞ク是レ利害ノ其身ニ密着セルヲ以テナリ本官ハ營業人
 ノ資産ニ對シテ制限ヲ立テハ善ラント百方考按セシモ是亦一大難
 事ナレハ終ニ露店呼賣ノ部類ニ入レ第十二條ノ但書ヲ本條ノ「三
 種トス」下ニ移シ即チ但露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ此限ニアラ
 ス。但書ヲ加ヘ以テ第十三四條ノ但書ヲ削除セント欲ス論者或ハ
 第一條ニ但書ヲ置クハ不可ナリト駁難ス可キモ既ニ十七年第三十
 號布告西洋形船舶檢査規則第一條ニ「此規則ニ遵ヒ檢査ヲ受クヘ
 シ但登簿船免狀ヲ受有スルニ及ハサル風帆船ハ此限ニアラス」ト言
 ヒ同年第三十一號布告火藥取締規則第一條ニモ「人民ニ於テ製造
 スルコトヲ禁ス但煙火マツチノ類ハ此限ニアラス」ト言ヘリ故ニ本

案モ此ノ文例ニ倣ヒ第一條ニ前陳ノ但書ヲ加ヘ以テ第十三條ニ之ヲ除カンコトヲ望ム又露店呼賣ヲ業ト爲ス者モ鑑札ヲ受ク可シト爲ストキハ若シ之ヲ受ケサルヤ第十七條ニ照シテ三倍ノ金額ヲ徵スルハ苛嚴ナラン幸ニ本官ノ修正ニ決セハ是等ノ混雜ハ一掃ニ付スルコトヲ得ヘキナリ

○二十六番鍋島 本官ハ敢テ十六番ヲ賛成スルニ非ス亦敢テ賛成セサルニ非ス本官ハ十六番ノ陳述セル主義ニハ同感ナレトモ其修正文ヲ第一條ニ加フルニハ同意セス之ヲ第二條ノ末文ニ移サハ妥當ナラン其引例スル西洋形船舶検査規則及ヒ火藥取締規則ハ禁令ニ係ルヲ以テ第一條ニ但書ヲ置クモ可ナレトモ本案ハ營業人ノ資格ヲ定ムル者ナレハ直ニ彼ニ倣フ可ラス抑モ本官ハ本案ニ對シテハ

不快ノ感ヲ懷ケリ手數ノ煩勞ニシテ費用ノ多端ナル得失相償フ能ハスシテ遂ニ收歛ノ名ヲ博センノミト思惟ス是ヲ以テ廢案說ヲ主持セシモ議場ノ容ルル所ト爲ラサルヲ曉リテ寢ミタリ然ルモ人民ノ怨言ヲ減セント冀フカ故ニ十六番ノ修正ニシテ其地ヲ易ヘハ之ヲ賛成セントス

○議長 十六番ノ動議ハ賛成者無キヲ以テ消滅ス本案ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者三十二人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山茂 朗讀

第二條

菓子營業ヲ爲サントスル者ハ管廳ニ願出營業鑑札ヲ受クヘシ但一人ニテ二箇所以上ノ營業場ヲ設クル者又ハ二種以上或ハ三種ノ營業ヲ兼ヌル者ハ各別ニ營業鑑札ヲ受クヘシ

○十六番 伊丹重賢 前條ニ對シテ修正說ヲ提出セシニ一人ノ賛成ヲ得ス是レ全ク位置其宜キヲ得サルニ坐セシナラン某議官ハ第二條ニ此修正ヲ加ヘハ賛成スト豫言セリ故ニ執拗ニ似タレトモ本條ノ別項ト爲シテ但露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ此限ニアラスト掲ケント欲ス其理由ハ既ニ前條ニ陳述セシ所ナレハ更ニ贅セサレトモ要スルニ位置其宜キヲ得サル爲メニ消滅セシハ遺憾ナリ因テ試ニ之ヲ提出ス

○二十六番 鍋島幹

十六番ヲ賛成ス本官ハ十六番ノ陳述セル理由ノ外

ニ猶ホ一言ス可キ有リ即チ本條ニ露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ヲ例外ニ置クトキハ露店呼賣者ト本營業人トノ檢束ニモ便利ナル可シト信ス而シテ小賣人ト露店呼賣者トノ區別ハ自ラ判然タレハ更ニ顧慮ヲ要セス結局最劣等ノ貧民ニ本案ノ順叙ヲ履マシムルハ慰藉ス可キナリ且ヤ之ヲシテ此手數ヲ爲サシメサルモ其提轄ニ支障ヲ見サルノミナラス多數貧民ノ利益ト爲ルナレハ切ニ本說ノ成立セシコトヲ望ム

○議長 十六番ノ修正ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○五十一番 津田眞道 賛成ス實ニ貧民ニ此手數ヲ煩ハシ鑑札料ヲ納メシムル等ノ裁制ヲ加ヘハ殆ント路頭ニ流落スルノ困難ヲ致サン願クハ問題說ニ決センコトヲ

○三番箕作麟祥 十六番ノ説ハ仁恤ヲ旨トシ本官モ同感ナリ別ニ本官ハ報告案中ニ注意ヲ缺ケル點ヲ發見セル有リ即チ第十七條ノ無鑑札營業ノ犯罪ヲ原案ノ如ク五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處スルハ可ナレトモ無稅鑑札ノ露店呼賣ノ營業ニハ逋脫ニ係ル金高三倍ノ標準ヲ取ル能ハス是レ本官輩ノ注意ヲ缺ケル者トス但第十七條ハ必ス修正報告案ノ如クセンコトヲ望ム蓋シ營業ノ大小ニ應シテ其罰金モ亦之ニ照應ス可キヲ以テナリ前陳ノ如ク十六番ノ論旨ニハ同意スレトモ其修正ニハ同意スル能ハス既ニ第二條ニ露店呼賣ヲ業ト爲ス者ヲ本案ノ外ニ置クト掲ケハ他ノ各條モ皆然ラサルヲ得サルナリ又第一條ノ「三種トス」ノ下ニ「但」云云ヲ添ルトキハ文ヲ成サス故ニ本官ハ第三讀會ヲ待チ第一條ノ「菓子營業者」ノ直下ニ「露店

呼賣ヲ爲ス者ヲ除ク」トノ脚註ヲ下タサン

出席

内閣委員番外 參事院議官補岩崎小二郎

○十六番伊丹重賢 三番ハ報告案ノ缺點ト現問題ニ反對スル旨趣トヲ辨シ遂ニ第三讀會ニ提出セントスル修正ノ意見ヲ豫陳セリ是レ實ニ本官ノ喜フ所ナリ不幸ニ現問題消滅セハ本官ハ第三讀會ニ於テ三番ノ修正ノ成立センコトヲ望ム要スルニ本官ハ苟モ貧民ニ寛假スルヲ得ハ其位置ノ何如ハ敢テ問フ所ニ非サルナリ

○十八番柴原和 十六番ノ動議ニ關シ三番ハ第十七條ノ矛盾スル理由ヲ辨シ而シテ第十七條ハ報告案ニ決シ第三讀會ニ至リ第一條ヲ修正センコトヲ豫陳セリ然レトモ本官ハ第十七條ハ矛盾スル無シト信ス何トナレハ初ヨリ營業稅ヲ納メサル露店呼賣ヲ業ト爲ス者ニ

シテ三倍ノ金高ヲ科徴ス可キニ非サレハナリ又此貧民ヲ本案ノ外ニ置クトキハ許多ノ煩勞ヲ省カン但シ割註ト爲スハ善ラス本官ハ寧ロ明白ニ第八條ノ末項ノ如ク第一條ニ一項ヲ加ヘハ可ナラント信ス故ニ十六番ニハ同意セサレトモ第三讀會ニ至リ本官ノ述ル如キ修正說ノ出ル有ラハ或ハ之ヲ賛成センノミ

○三番 箕作麟祥

本官ハ現問題ヲ駁セス又反對說ニ抗辨セサレトモ前言ヲ貫徹セシムル爲メニ尙ホ陳述スル有ラン原案ノ旨趣ハ露店呼賣ヲ業ト爲ス者ニハ鑑札料ヲ收メ營業稅ノミ免除ス然ルニ十六番ハ此鑑札料ヲモ免除セン爲メニ酒類小賣ノ例ヲ引ケリ即チ原案ハ營業稅ハ免除スルモ鑑札料ハ其營業人ナルヲ以テ之ヲ收ム若シ鑑札ヲ受ケスシテ營業スレハ密賣犯タルカ故ニ原案ナレハ五圓以上五

十圓以下ノ罰金ニ處シ修正案ナレハ營業稅ノ逋脫金高三倍ノ罰金ニ處ス其營業稅ヲ免除スルコトハ第八條ノ末項ニ明文ヲ掲ケリ本官ハ十六番ト同感ニシテ實ニ露店呼賣ヲ業ト爲ス者ハ併セテ其鑑札料ヲモ免除セント欲ス既ニ營業稅ヲ課スル無キ以上ハ如何シテ營業稅逋脫金高三倍ノ罰金ニ處スル準的ヲ得ンヤ是レ本官ノ修正ノ注意ヲ缺ケルヲ謝スル所以ニシテ若シ全ク原案第二條第四條ノ旨趣ヲ貫キ之ヲ無罪ニ置ント欲セハ第十七條ハ矛盾セル者ト謂ハサル可ラス但シ果シテ前陳ノ修正ヲ第三讀會ニ提出スルヤ否ヤハ今正サニ考案中ニ在ルナリ

○十八番 柴原和

稍ヤ問題ノ外ニ涉レトモ一辨シテ第十七條ヲ救フノ地ヲ爲サン本官モ三番ノ言ヲ聞キテ始メテ悟ル有リ實ニ鑑札ヲ受

ケスシテ露店呼賣ノ業ヲ爲ス者ヲ重罰ニ處ス可キニ非ス宜ク第二
十條ノ科料ノ比例ニ從フヘキナリ

○十四番 大鳥圭介 十六番ノ說ハ其旨趣ハ間然スル無キモ其修正ノ位置
ハ不可ナリ故ニ賛成スル能ハス又三番十八番ニ對シ一辨センニ本
官ハ第十七條ヲ原案ニ復セント欲ス苟モ原案ニ復セハ何ソ三番等
ノ云フ如キ撞着ヲ致サンヤ是ヲ以テ時機ニ應シ此意見ヲ提出セン
トス

○九番 三浦安 第十七條ノ修正ハ實ニ注意ヲ缺タレトモ本官ハ十六番
ノ動議ニハ旨趣文章共ニ同意スル能ハス苟モ菓子ニ課稅スル以上
ハ免許ヲ得テ業ニ從フ證憑ヲ帶ヒサル可ラス故ニ鑑札受有其他ノ
手續ハ檢束ニ要スルノミ既ニ一方ニ納稅營業者ノ在ル有レハ十六

番ノ動議ノ如クスルヤ納稅營業者ハ逃脫ヲ謀ル爲メニ露店呼賣者
ノ範圍内ニ入ラントス然ラハ則チ當局者ハ提轄ノ勞ニ堪ヘスシテ
其弊ヤ勝ケテ言フ可ラサラン故ニ十六番ノ動議ヲ非認ス十八番ノ
露店呼賣者ニ關スル罰金ヲ第十七條ヨリ抜キテ第二十條ノ科料ニ
移スト云フハ本官モ同感ナリ要スルニ十六番ノ第十七條ノ缺點ヲ
發見セシハ本官等ノ深謝スル所ナレトモ鑑札ヲ授ケサレハ提轄ニ
支障ス若シ夫レ鑑札料ヲ輕減セント云フニ至テハ自ラ別論ニ屬ス
○二十六番 鍋島幹 本官ハ現問題ノ賛成者ナリ某議官ハ現問題ノ主義
ハ可ナレトモ其插入スル位置ハ不可ナリト云ヘリ本官ハ此位置ニ
シテ始メテ其處ヲ得タリト信ス本條ニ在テ此但書ヲ掲ケハ他ノ各
條モ皆然セサルヲ得スト難スレトモ第三條ノ如キハ營業鑑札受有

後ノ手續ニ係ル故ニ既ニ第二條ニ特例ヲ示サハ第三條ニハ不用ニシテ第四條モ亦然リ何ソ位置ノ不可ナル有ランヤ且夫レ本條ニ此特例ヲ掲クルトキハ第十七條ノ矛盾ヲ救フコトヲ得ン若シ字句ノ不妥ヲ感セハ第三讀會ニ之ヲ修改スルモ可ナリ然ラサレハ本會ニ於テ第十七條ヲ修正スル如キ紛雜ヲ生セン故ニ現問題ニ同意センコトヲ望ム只今九番ハ鑑札料ヲ輕減スルハ可ナレトモ露店呼賣者ヲ例外ニ置クハ檢束ニ支障スト云ヘリ此論旨ハ反對論中ノ有力ナル者ナレトモ本官ハ是亦無要ノ罣慮ト信ス夫レ路傍ニ露店ヲ張り街上ニ高聲ヲ放チテ營業スル者ト店舗ヲ設ケテ小賣ヲ營業ト爲ス者トハ其區別明判ナリ假令或ハ官吏ノ檢束周到セスシテ偶々姦商ノ法網ヲ漏ルル有リト爲スモ同業者ハ決シテ之ヲ不問ニ置サル可

シ況ヤ營業ノ大中小ヲ區別スルハ煩難ナレトモ露店呼賣ト小賣營業者トハ形體上ニ於テ其區別ノ明判ナルヲヤ實ニ九番ノ罣慮スル如キ者ノ千百ニ一二アリト假定スルモ是レ露店ニ彷彿タル者ナラシノミ願クハ現問題ニ決センコトヲ

○三十六番 榎村正直 本官ハ現問題ヲ否認ス第十七條ノ矛盾ヲ致スハ實ニ然リ營業稅ノ存セサル者ニ其三倍ノ罰金ヲ課セントスルモ之カ準則ヲ得ヘカラス又露店呼賣ヲ業ト爲ス者モ犯罪アレハ多少ノ料ニ處スルハ可ナレトモ現問題ハ到底提轄ニ支障ヲ生セン蓋シ菓子營業人ニハ行商ヲ爲スモ有ラン若シ鑑札ヲ授ケスハ何ヲ以テ其區別ヲ知ルヲ得ン三番ノ第一條ニ割註ヲ加フル說モ不可ナリ到底九番ノ說ノ如ク露店呼賣者ニモ鑑札受有ヲ要スルヲ至當ナリト

ス

○十八番 柴原和

本官ハ質問ヲ要スル有リ十六番ノ説ハ到底成立セサル者ト信セシニ只今二十六番ハ十六番ノ修正説ニ決定セハ第二讀會ハ不齊整ニシテ經過スルモ可ナリト云ヘリ然ルニ第三讀會ノ修正ハ未定ニ屬ス故ニ若シ第三讀會ニモ亦同ク不齊整ニシテ經過スルトキハ其不齊整ナル者ヲ以テ上奏セサル可ラス菓子ノ資格ニ關シ内閣委員ハ團子、萩ノ餅ハ菓子ニ非スト云ヘリ山間野外ノ恠シケナル茅屋等ニ於テ賣ル者ハ概ネ團子、萩ノ餅ノ類ナリ又只今十六番ノ説ニシテ成立セハ第十七條ノ矛盾ヲ避ルヲ得ヘシト云フモ營業稅ノ存スル無キニ其三倍ノ罰金ヲ科スル如キハ準的ヲ得ス故ニ別ニ科料ノ罰例ヲ立ルヲ要ス十六番ノ仁恤ノ主義ハ原案既ニ團子、萩

ノ餅ヲ菓子ノ外ニ置クヲ以テ十分ノ餘地ヲ得シ實ニ彼ノ酒稅ノ三戸村裏ノ小賣營業人ニモ之ヲ及ホシ即チ甘酒ヲ除クノ外ハ一切ノ酒類ニ課稅セシモ此ト彼トハ寬嚴ノ差別既ニ甚タシ且第二條ニ但書ヲ加ヘハ他條モ盡ク然セサルヲ得ス況ヤ文章モ亦妥當ナラサルヲヤ到底現問題ヲ賛成スル能ハス

○十六番 伊丹重賢

十八番ノ言ニ據レハ本官ノ三番ニ對スル言ヲ不充分ナリト爲スニ似タリ本官ハ決シテ本會ハ假ニ經過シ以テ第三讀會ノ確決ヲ待タント云フニ非ス實ニ自說ノ可ナルヲ篤信シ且若シ不幸ニシテ消滅セハ其主義ヲ達スル爲メニ三番ノ豫陳説ニ同意スルコトヲ豫陳セシノミ誰カ自說ノ消滅ヲ望ム者アラシヤ露店營業者ニ彷彿タル二三貧民ノ或ハ法ヲ犯ス有ルヤヲ知ラサレトモ要スル

ニ貧民ヲ遇スルニハ小鮮ヲ烹ル如キ意思ニ出シコトヲ望ム思フニ
今日マテ店舗ニ在テ小賣ヲ爲セシ者ノ明日ヨリ露店ニ變スルモ或
ハ之レ有ラン然レトモ是等ハ強テ問フヲ要セス十八番ハ團子、萩ノ
餅ハ菓子ノ種類ニ非スト説ケトモ本官ハ眼鏡ヲ懸ケテ反覆熟視ス
ルモ本案中其明文ニ遇着セス彼ノ餅ニ非ス團子ニモ非ス糟糠ヲ以
テ製レル如キ菓子ヲ菓子商ヨリ受賣スルハ道路街衢ニ於テ往往ニ
見ル所トス是ヲ以テ本官ハ現問題ヲ提出セシノミ

○外番三番神鞭知常 本問題ニ關シ一辨セン初メ大藏省ノ上申案ニハ露店
呼賣ノ營業ノコトヲ掲ケサリシニ内閣ニ於テ貧民ヲ憫ム爲メニ遂
ニ之ヲ插入セリ今又タ一步ヲ進メテ其鑑札稅ヲ免除ス可シト云フ
モ是等ハ現ニ地方稅ヲ納メテ營業セル者ナリ故ニ鑑札稅ヲ免除ス

ルハ實ニ望ム所ナレトモ到底本案ノ範圍ヲ脱スルトモ地方稅ハ依
然負擔スルナレハ寧ロ輕額ノ國稅ヲ負フテ重額ノ地方稅ヲ免レシ
ムルヲ彼ノ徒ニ利益ナリトス況ヤ提轄ニ關シテモ國稅ニ編入スル
ヲ便ト爲シ又檢査ニ關シテモ鑑札ヲ受ケシムルヲ便ト爲スヲヤ故
ニ報告修正案ヲ可トス若シ現問題ニ從ヘハ第一項ニ「但」ノ字アル
ニ更ニ第二項ニ但云云ト爲シ其「但」ノ字ノ重複セル爲メニ意外ナ
ル一種ノ解釋ヲ爲スニ至ランコトヲ恐ルルナリ

○二十六番鍋島幹 内閣委員ハ國稅ニ編入スレハ地方稅ヲ負擔スルヨ
リハ輕減ニ歸スト云フモ現ニ各府縣ヲ通シテ悉ク露店呼賣者ニ地
方稅ヲ課スルニ非ス況ヤ國稅ヲ免除スルトキハ地方稅ヲ課セサル
ヲ保ス可シ畢竟二三地方ノ露店呼賣者ニ地方稅ヲ課スルハ其本營

業者ニ課税スル爲メニ之ニ附隨セシムルノミ故ニ内閣委員ノ國稅ニ編入スルヲ貧民ノ利益ナリト爲スト云フハ萬萬必無ノ事ト信ス

○議長 十六番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者六人

○議長 少數ナルヲ以テ十六番ノ修正説ハ消滅ス

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者三十八人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 朗讀

第三條

菓子營業者自己又ハ家族又ハ雇人ヲ以テ仕入又ハ出賣ヲ爲サント

スルトキハ管廳ニ申出仕入鑑札又ハ出賣鑑札ヲ受ケ各自之ヲ携帯スヘシ

○議長 發議無キヲ以テ可定ト認メ次條ニ移ル

書記官 森山 朗讀

第四條

鑑札ヲ受ル^ルトキハ左ノ鑑札料ヲ納ムヘシ

營業鑑札料 一枚ニ付金貳拾錢

仕入鑑札料 一枚ニ付金拾錢

出賣鑑札料 一枚ニ付金拾錢

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官 森山 朗讀

第五條

鑑札ヲ失却毀損シ又ハ代替改名轉居〔セシトキ〕ノ節ハ管廳ニ届出其再渡又ハ書換ヲ請フヘシ但前條ノ鑑札料ヲ納ムヘシ

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第六條

菓子營業者 廢業ノ節ハ管廳ニ届出鑑札ヲ還納スヘシ〔セシトキ〕

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第七條

鑑札ハ貸借賣買又ハ讓受讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官 森山 茂 朗讀

第八條

菓子營業者ハ左ノ區別ニ從ヒ營業稅ヲ納ムヘシ但二業〔種〕以上〔ノ營業〕ヲ兼ヌル者ハ其稅額ノ多キモノ十箇ニ就キ納稅スヘシ

製造營業稅

雇人十人以上アル者 一箇年 金貳拾圓

雇人六人以上アル者 一箇年 金拾五圓

雇人三人以上アル者 一箇年 金拾圓

雇人二人以下アル者 一箇年 金五圓

雇人ナキ者 一箇年 金壹圓

卸賣營業稅

- 雇人十人以上アル者 一箇年 金貳拾圓
- 雇人六人以上アル者 一箇年 金拾五圓
- 雇人三人以上アル者 一箇年 金拾圓
- 雇人二人以下アル者 一箇年 金五圓
- 雇人ナキ者 一箇年 金壹圓

小賣營業稅

- 雇人三人以上アル者 一箇年 金七圓
- 雇人二人以下アル者 一箇年 金三圓
- 雇人ナキ者 一箇年 金壹圓

二種以上ヲ兼タル營業者ノ雇人ハ各業ヲ別タス之ヲ合算スルモノ

トス年齢十五年未滿ノ雇人ハ之ヲ算入セネ

露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ其營業稅ヲ免除ス

○十四番 大鳥圭介 本條中修正委員ノ削除セシ「年齢十五年未滿ノ雇人

ハ之ヲ算入セス」ノ十七字ヲ原案ニ復セン思フニ原案ニ寛假セル者ヲ修正委員ノ之ヲ削除セシハ苟モ課稅スル以上ハ嚴酷ニ出ツ可シトスル主義ニ成レルヤヲ知ラサレトモ元來菓子稅ハ頗ル困難ナル者ニシテ彼ノ酒稅煙草稅等ト同視ス可キニ非ス唯其醬油稅ニ比スレハ稍ヤ勝サルノミ且ヤ菓子稅ニハ營業稅ト鑑札料ト賣上高稅トノ三重稅ニシテ他ノ鑑札料ト營業稅トノ二重稅ニ比スレハ素ヨリ既ニ重キヲ覺フ故ヲ以テ本官ハ賣上高稅ハ頗ル困難ナル者ナレハ此雇人稅中ニ移サント欲セシモ亦然スル能ハサルヲ悟リテ止メ

リ菓子屋ノ雇人ハ十五歳未満ニシテ能ク營業ヲ補助ヌ可キモ此制限ヲ存スルト否トニ因テ其關係スル所ハ甚タ大ナリ即チ若シ之ヲ削ルトキハ十五歳未満ノ守竈奴等モ雇人ノ數中ニ算入シテ課税スルノ苛酷ヲ見ントス要スルニ酒税煙草税ト同視ヌ可ラサル菓子税ナルヲ以テ苛酷ニ涉ラサル原案ニ復セシコトヲ望ム

○五十一番 津田 眞道 十四番ヲ賛成ス修正案ノ原案ヨリモ其主義ヲ苛酷ナラシメタルハ其意ヲ解スル能ハヌ況ヤ十五歳未満ノ者ハ雇人ニ非スシテ多クハ食料ヲ與ヘテ給金ヲ與フル無キ所謂年季小僧ナルヲヤ然ルヲ之ニ課税スルハ苛酷ナリ十六歳以上ニ非スハ雇人ト云フヲ得ス元來苛酷ノ法律ナルニ一層ノ苛酷ヲ加フルハ不可ナリ然ラハ則チ何ソ之ヲ削ルヲ要セシ

○三十三番 橋口 兼三 賛成

○議長 十四番ノ動議ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○三番 箕作 麟祥 本官輩ト雖モ敢テ收斂ノ主義ヲ執ルニ非ス實ニ本案ハ專賣特許條例電信條例等ノ如ク國益ヲ進ムル者ニ非サルヲ知ルカ故ニ醬油税則案ニ對シテ廢棄論ヲ唱ヘシ如ク本案モ廢棄スルヲ得ハ之ヲ廢棄セント欲ス然ルニ大藏卿ノ演述ト内閣委員ノ説明トヲ聽キ已ムヲ得スシテ賛成セシノミ既ニ課税スル以上ハカメテ偏頗ヲ除キ奸詐ヲ防カサル可ラス原案ノ如クナレハ奸人ハ免カレ正人ハ苦ムノ不公平ヲ見ルカ爲メニ之ヲ削除セシナリ雇人ノ員數ニ應シテ課税ヲ増減スルハ即チ其製造額ノ多少ニ從フニ在リ然レハ則チ十五歳未満ノ雇人モ一箇人タル職業ヲ爲スヲ得ハ素ヨリ宜ク課

税スヘキ者トス論者或ハ十五歳未満ノ雇人ハ其税額ヲ半減セハ可
 ナラント云フモ若シ之ヲ半減シ若クハ全免セハ雇人ノ員數ニ應シ
 課税スル準的ヲ破壊セントス凡ソ菓子ノ製造ハ筋骨ト才能トヲ要
 セス指揮者ノ命令ニ從ヘハ足ル者ニシテ彼ノ兵役若クハ財産管理
 ノ如ク能力ト體力トヲ要セス故ニ十五歳未満ノ店僮ハ餉ヲ煉ル等
 却テ大人ヨリモ巧ナル者ナリ本案ハ他ノ逃路ハ大抵之ヲ杜塞シタ
 ルモ若シ此一逃路ヲ存セハ奸曲者ハ脱税ヲ圖ル爲メニ多ク十五歳
 未満ノ者ノミヲ雇使セントス若シ仁惠ノ主義ヲ執ラハ罰則ヲ輕減
 シ若クハ之ヲ廢棄ス可キノミ本官ハ實ニ原案ニ此特例ヲ掲ケタル
 ヲ怪メリ是ヲ以テ其之ヲ削除セシハ敢テ收斂主義ニ出ルニ非ス專
 ヲ奸曲ヲ防制スルニ在ルナリ

○十六番 伊丹重賢

本官ハ十四番ヲ賛成ス修正委員ノ之ヲ削除セシハ三
 番ノ説ク如ク實ニ雇人ノ員數ニ應シテ課税スル主義ヲ貫ク爲メナ
 ル可キモ到底十五歳未満ノ雇人ハ幼童ナルノミ然レハ則チ此幼童
 ヲ雇人ノ數中ニ算入セスト云フモ何ソ幼童ノミヲ雇使シテ脱税ヲ
 圖ル有ランヤ因テ修正委員ニ問フ他條ニ掲クル「各業」ノ字面ハ悉
 ク各種ニ改メ獨リ此條ノミ之ヲ改メサルハ其理由アルヤ或ハ偶然
 ノ遺漏ナルヤ敢テ辨明ヲ煩ハス

○十八番 柴原和

十六番ノ質疑ノ事項ハ他ノ修正委員ノ意思何如ハ知
 ラサレトモ本官ハ實ニ注意ヲ缺キタリ十六番ノ改修スルヲ望ム因
 テ現問題ニ對シ一辨セン既ニ三番ノ充分ニ辨明セシモ動議者ハ酒
 税煙草税ト菓子税ヲ同視ス可ラスト云ヘリ夫レ酒税ハ既ニ極度ニ

達セシモ本案ハ新稅ナルヲ以テ之ヲ寬假セリ然レトモ其性質ヲ問ヘハ酒煙草ト同一物品ナルノミ本官ハ十五歲未滿ノ雇人ヲ特例ニ置クトキハ營業者ハ勢ヒ十五歲未滿ノ幼童ヲ雇使スルニ傾向シ本案ノ徒法ニ歸センコトヲ恐ル若シ寬大ヲ好ムト云ハハ廢案ニ付スルモ可ナリ營業稅ヲ免除スルモ亦可ナリ然レトモ既ニ課稅スル以上ハ十五歲未滿ノ雇人ヲ特例ニ置ク可ラサルノミ

○九番^{三浦} 修正案ノ理由ハ三番十八番既ニ之ヲ陳述セリ寬苛ヲ比較シテ之ヲ言ヘハ動議者ノ說モ一理アレトモ苟モ本案ヲ創定スル以上ハ充分ニ罅隙ヲ填塞セサル可ラス故ニ露店呼賣ヲ業ト爲ス如キ恤ム可キ賤民ト雖モ全ク之ヲ本案ノ外ニ置ク可キニ非ス唯稍ヤ寬假ス可キナリ畢竟寬ト云ヒ嚴ト云フハ論者各己ノ意想ニ出ルノ

ミ試ミニ雇人アル者ト雇人無キ者トニ注目セヨ其有無ノ關係果シテ如何ナルヤ是レ十五歲未滿ノ雇人ハ其課稅ヲ半減ト爲ス可シト說ク所以ナラン彼ノ吳服商越後屋等ノ店僮ニハ十歲未滿ノ者ヲ見又菓子ノ製造ニハ體力ヲ要セス故ニ女子ト雖モ事ニ從フ若シ雇人無キ者ト十三四歲ノ雇人ヲ有スル者トヲ比較セハ蓋シ思ヒ半ハニ過ン原案ノ如クアルトキハ十六七歲ニシテ十四五歲ノ看ヲ爲ス者ト之ニ反對スル看ヲ爲ス者トハ天賦ノ形質ニ出テ世間往往ニ之レ有リ故ニ十七八歲ノ者モ體格ノ薄脆ヲ奇貨ト爲シテ年齡ヲ詐稱シ以テ一二年ノ逋稅ヲ謀ルヲ得ントス故ニ原案第十二條ニ年齡ノ事ヲ言ヘルモ此一二年ヲ爭フニハ原籍ヲ調査スルニ非サレハ明カニ知ル能ハス若シ雇主ノ供申ニ放任セハ必ス年齡ヲ隱匿スル弊ヲ生

シ尋テ官民間ノ混雜ヲ招カントス第一讀會ニ於テ内閣委員ニ質問セシニ雇人トハ純然ニ菓子製造ニ従事スル者ヲ謂フト答ヘリ苟モ既ニ雇主ノ命ヲ承ケテ一人分當ノ業務ニ耐ユルヲ得ル十三四歳ノ者ナラハ何ソ之ヲ例外ニ置キテ許多ノ弊害ヲ生セシムルヲ須ヒン反對論者ヨ請フ苛酷寛仁等ノ意想論ヲ止メシコトヲ

○十四番 大鳥圭介

三委員ノ説ヲ一括シテ更ニ一辨セン論者ハ本官ノ説

ニ決スレハ菓子營業者ハ幼僮ノミヲ雇使シ以テ逃税ヲ圖ルト難セリ説ノ如ク幼僮ニモ或ハ伶俐ニシテ大人ニ匹敵スル巧手ナキニハ非サル可キモ元來菓子製造ハ團子ヲ搏メルノ比ニ非ス精好ノ菓子ヲ製造スルニハ多年ノ經驗熟練ヲ要スルヲ以テ必ス丁年以上ノ者ニ係ル況ヤ十五歳未滿ノ店僮ハ多クハ雇人ニ非スシテ所謂年季小

僧ナル者ヲヤ此幼僮タル職工ヲ雇使シ以テ食料ヲ徒費スル如キハ實際必無ノ事トス彼ノ割烹店ノ如キモ少數ノ熟練割烹手ヲ雇使スルヲ利益ト爲ス又其雇人ノ種類ヲ分チテ水汲ト云ヒ小買ト云ヒ以テ菓子製造ニ従事セサル者ヲ區別スルハ甚々難シ原案第十二條ニハ年齢ノ文字アリ年齢ヲ調査スルハ尤モ難シトス然ルニ本官ノ修正ニ決スルモ誕生ノ初年ヨリシテ豫メ菓子製造ノ雇人ト爲サント欲シテ年齢ヲ詐稱スル如キハ萬モ之レ無ランノミ假令往往ニ此事アリト做スモ是等ハ不問ニ付シテ可ナリ九番ハ十四五歳ノ雇人ヲ有スルト之ヲ有セサル菓子製造人トヲ比較シテ其利害ヲ觀察セヨト辨スレトモ是レ税金十五圓ナル六人以上九人以下ノ雇人ノ數中ニ二人ノ幼僮ヲ加ヘテ十一人ト爲セハ隨テ二十圓ノ税金ヲ納ムル

ト同一ノ比例ナルノミ思フニ寛嚴何如ノ論ハ本題ノ主點ニ非サレトモ脱漏ナキヲ欲セハ嚴ト爲リ脱漏アルヲ容セハ寬ト爲ル故ニ寬ト云ヒ嚴ト云フハ畢竟脱漏ノ有無ニ係ル區別ナルノミ然レトモ本官モ九番ト同感ニシテ只今寛嚴ヲ論スルハ無用ト信ス要スルニ本官ハ一二年ヲ詐稱スル如キハ不問ニ置ントスル精神ヲ以テ動議ヲ發セシナリ

○三十三番橋口兼三 本官ノ十四番ヲ賛成セシハ其主義ノ寛嚴何如ニ在リ原案ノ如ク十五歳未滿ノ雇人ニ營業稅ヲ免除スルハ實ニ寬ナリ然レトモ此一條ノ逃路ヲ存セハ雇主ハ種種ノ奸策ヲ運ラシテ警察官ノ手數ヲ煩ハスニ至ル可ク即チ雇人ヲ稱シテ親族ノ寄宿スル者ナリト云フ等ノ奸詐ハ多多ナル可シ故ニ本官ハ正面ヨリ之ヲ論シ

末丁年者ハ一箇人タル資格即チ智力體力ヲ具有セサル者ト看做シテ百般ノ行爲皆之ヲ宥恕ニ付セント欲シ更ニ一步ヲ進メテ二十歳未滿ノ雇人ト爲スモ可ナラント信ス然ルニ原案ノ五歳ヲ減縮シテ十五歳ト定メシハ誠ニ平穩ナリトス實ニ法律ノ奸詐ヲ防クニ周密ナルハ甚タ喜フ所ナレトモ是レ言フ可クシテ行フ可ラス今若シ十五歳未滿云云ヲ削ラハ脱漏ヲ防ク可キモ之ヲ復シテ警察官ニ其檢束ヲ委シテ可ナラン縱令法律ノ正面ハ綿密ナルモ其裏面ヨリ看來レハ到底奸詐ヲ防ク能ハス是レ本官賛成ノ理由ナリ

○九番三浦安 十四番ハ年齢ノ事ニ關シテ本官ヲ駁難セリ其水汲ニ供スル雇人等ノ區別ハ年齢ニ關係セス若シ其論旨タル此ノ如クスレハ提轄行ハル可ラスト云ハハ可ナレトモ此ノ如クスレハ苛酷ニ失

ス必ス寛裕ナルヲ欲スト云ハハ是レ他人ノ意想ヲ侵冒スル者ノミ
蓋シ取締上ヨリ苛酷ニ入ルニハ自ラ其順序アリ然ルニ寛嚴何如ヲ
量較スルヨリ無用ノ議論ヲ來タシ三番モ自ラ收斂ノ臣ニ非スト辨
スルニ至レリ故ニ苛酷寛仁等ノ言語ハ議場ニ上ホス可キニ非ス唯
檢束ノ行ハルト行ハレサルトヲ審議センノミ若シ夫レ精密ニ仁字
ノ義解ヲ爲ストキハ仁ニモ彼ノ宋襄ノ仁アルナリ

○議長 十四番ノ動議ニ同意スル者ハ起立セヨ
起立者十六人

○議長 少數ナルヲ以テ十四番ノ動議ハ消滅ス

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者二十一人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

○十六番 伊丹重賢 只今「業」ヲ種ニ改ムル修正ヲ爲スヲ得ルヤ

○議長 第八條ハ既ニ決定セルヲ以テ第三讀會ニ提出シテ可ナリ本
日ハ此ニ閉會シ明日例刻ヨリ續會ヲ開カン各官散會セヨ

午後零時四十分閉場

元老院會議筆記 明治十八年四月二十四日

禁傍聽

○第四百六十六號議案 菓子稅則 第二讀會 四月二十三

議長 東久世
通禧

出席議官

二番	小畑	美稻
三番	箕作	麟祥
四番	田中	芳男
五番	青山	貞
八番	西	周
九番	三浦	安
十番	福原	實

十一番	長松 幹
十三番	西村 貞陽
十四番	大鳥 圭介
十五番	長岡 護美
十六番	伊丹 重賢
十八番	柴原 和
十九番	籠手田 安定
二十三番	鍋島 直彬
二十六番	鍋島 幹
二十七番	壬生 基修
二十八番	神山 郡廉

三十一番	上杉 茂憲
三十二番	官本 小一
三十五番	細川 潤次郎
三十六番	榎村 正直
三十七番	神田 孝平
三十八番	岩村 定高
三十九番	大久保 一翁
四十一番	町田 久成
四十三番	伊集院 兼寛
四十四番	由利 公正
四十五番	河田 景與

四十八番 中島 錫胤

五十一番 津田 眞道

五十四番 村田 保

内閣委員番外番 參事院議官補岩崎小二郎

午前第十時開場

○議長 第四百六十六號議案第二讀會ノ續會ヲ開ク

書記官西山眞平 朗讀

第九條

營業稅ハ一箇年ヲ二期ニ分チ前半年分ハ其年一月三十一日限後半
年分ハ同ク七月三十一日限之ヲ納ムヘシ但新ニ開業スル者ハ營業
鑑札ヲ受クルトキ其半年分ノ營業稅ヲ納ムヘシ

出席

番外一番

宍戸

璣

○議長 發議ナキヲ以テ決ヲ取ン本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ
起立者三十人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決シ次條ニ移ル

書記官西山眞平 朗讀

第十條

營業稅前半年分ハ其年一月一日後半分ハ同ク七月一日ノ雇人ノ
現員又新ニ開業スル者ハ其營業鑑札ヲ受ルトキノ現員ニ據リ定ム
ヘシ但雇人増加シタルトキハ該期ノ増稅ヲ納ムヘシ

○議長 發議ナキヲ以テ可定ト認メ次條ニ移ル

書記官西山眞平 朗讀

第十一條

菓子製造人ハ製造税トシテ菓子賣上ノ金高百分ノ五ヲ左ノ期限ニ從ヒ納ムヘシ

第一期 一月一日ヨリ六月三十日迄賣揚金高ニ係ル分 其年八月三十一日限

第二期 七月一日ヨリ十二月三十一日迄賣上金高ニ係ル分 翌年二月二十八日限

半年分ノ賣上金高三拾圓未滿ノ者及ヒ露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ其製造税ヲ免除ス

○議長 本條第二項ノ「賣揚金高」ト言ヘル「揚」ノ字ハ上ノ字ノ誤刷ナリ之ヲ領セヨ

○議長 發議ナキヲ以テ可定ト認メ次條ニ移ル
書記官 西山 眞平 朗讀

第十二條

菓子營業者ハ毎年一月一日七月一日現在雇人ノ員數氏名年齢ヲ取調其月十五日限又新ニ開業スル者ハ出願ノトキ管廳ニ届出ヘシ但爾後増員アルトキハ其時々之ヲ届出ヘシ

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル
書記官 西山 眞平 朗讀

第十三條

菓子製造人ハ毎年其製造高及ヒ賣上金高ヲ左ノ通管廳ニ届出ヘシ

一月一日ヨリ六月三十日迄 但露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ此限ニアラス
分製造高 分賣上金高 其年七月十五日限

七月一日ヨリ十二月三十一日迄 分製造高 分賣上金高 翌年一月十五日限

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官西山眞平 朗讀

第十四條

菓子製造人ハ菓子並ニ其製造原品ノ賣買ヲ帳簿ニ記載シ置ヘシ但露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ此限ニアラス

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官西山眞平 朗讀

第十五條

菓子營業者ノ帳簿倉庫營業場及ヒ營業物品ハ主任官隨時之ヲ檢査スヘシ

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官西山眞平 朗讀

第十六條

主任官ニ於テ此規則ニ關シ犯罪アリト認知シ又ハ思料スルトキハ其場所ニ立入り證憑取調ノ處分ヲ爲スコトヲ得但其主任タルノ證票ヲ携帯スヘシ

○議長 可定ト認メ次條ニ移ル

書記官西山眞平 朗讀

第十七條

第二條ニ違ヒ營業鑑札ヲ受スシテ菓子營業ヲ爲シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處シ仍ホ現在ノ菓子及ヒ製造器械ヲ沒收ス營業稅通稅ニ係ル金額
既ニ賣捌キタル者ハ其代金ヲ追徴ス

○三十六番榎村正直 本官ハ本條ヲ修正シテ罰金ニ處シテ下ニ露店又ハ

呼賣ヲ爲シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ストノ
 數十字ヲ加ヘ仍ホ現在ニ云云ノ一段ヲ別項ト爲シ前項ノ場合ニ於テ
 ハト言ヘル一句ヲ冠スルヲ欲ス夫レ露店ヲ開キ又ハ呼賣ヲ爲ス者
 ハ營業稅ヲ免除スルモ營業鑑札ヲ受スシテ營業スルトキハ罰セサ
 ル可ラス然ルニ本條朱書ノ修正ノミニ止メハ其罰ヲ脱スルニ因リ
 此修正說ヲ提出ス但其均ク營業鑑札ヲ受スシテ營業スルニ彼ニハ
 罰金ヲ課シ此ニハ科料ヲ課スルハ貧富ノ度ノ同シカラサル爲メナ
 リ此修正文案ハ頗ル長キニ涉ルヲ以テ書ニ具シテ議長ノ机下ニ呈
 セリ願クハ書記官ニ朗讀ヲ命センコトヲ

○議長 三十六番ノ修正文ヲ朗讀セシム

書記官 西山 眞平 朗讀

第十七條

第二條ニ違ヒ營業鑑札ヲ受ケスシテ菓子營業ヲ爲シタル者ハ營業
 稅通脱ニ係ル金高三倍ノ罰金ニ處シ露店又ハ呼賣ヲ爲シタル者ハ
 一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ仍ホ現在ノ菓子及ヒ製造器械ヲ沒收ス既ニ賣
 捌キタル者ハ其代金ヲ追徴ス

○三番 箕作 麟祥 三十六番ヲ賛成ス露店ヲ開キ又ハ呼賣ヲ爲ス者ト雖モ

第二條ニ據ラサル可ラサル以上ハ無鑑札ノ營業ヲ罰スルハ當然ナ
 リ原來本條ノ修正モ主トシテ酒烟艸ノ稅則ニ倣ヒ而シテ原案ハ小
 營業者ニ酷ナルヲ以テ之ヲ寬ニセリ然ルニ說ノ如ク露店云云ノ數
 十字ヲ加ヘサレハ第二條ノ制裁ヲ缺カン故ニ本官等ノ修正ノ此ニ

及ハサリシハ遺漏ニ出ツ必ス之ヲ加フルヲ可トス然ルニ原案ノ「露店ヲ業トスル」ト言フモ妥當ナラス「露店ヲ爲ス」ト言フハ愈ヨ妥當ナラサルモ第三讀會ニ讓リテ今之ヲ論セス

○議長 三十六番ノ修正說ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十四番 大鳥圭介 本官ハ朱書ノ修正ニ異論ヲ持ス酒烟艸ノ稅則ニ倣ヘルハ之ヲ解スレトモ本修正ニ據レハ頗ル窮屈ナルヲ覺フ加之本官ノ菓子ヲ酒若クハ烟艸ト同視セサルハ前會ニ陳ル如シ故ニ前會ニ修正委員ノ修正ノ理由ヲ說明セルニ拘ラス尙ホ本條ニ係ル修正ノ說明ヲ煩ハサン本官ハ因テ以テ去就ヲ決セント欲スルナリ

○九番 三浦安 本條ヲ酒烟艸ノ稅則ニ倣ヒ修正セルハ本官等菓子ヲ視テ酒烟艸ト同シク奢侈品ト倣セルニ由ル蓋シ此物ナキモ人生ノ健

康ヲ保ツニ障礙ヲ見サレハナリ是レ之ヲ第一理由ト爲ス又原案ノ如ク「五圓以上」云云ト言ヘハ小營業者ニシテ第二條ニ觸ルルモ少ナクモ五圓ノ罰金ヲ科セサルヲ得ス而シテ修正ノ如クセハ營業稅ヲ逃脫スルノ多額ナル者ハ其罰金モ多額ニシテ其逃脫ノ少額ナル者ハ罰金隨テ少額ナルヲ以テ小營業者ヲ酷罰ニ處セサルノ利便アリ是レ之ヲ第二理由ト爲ス然レトモ今ニシテ之ヲ觀ルニ此修正ノミニ止メハ露店ヲ開キ又ハ呼賣ヲ爲ス者ノ無鑑札ニシテ營業セル處分法ヲ脫スルニ至ル幸ニ三十六番ノ修正說ハ之ヲ補充スルニ足リ又十四番モ深ク憂ヒタル呼賣者等ニ重罰ヲ科セサル旨趣ニ出レハ起立ノ次ニ之ヲ賛成ス若シ夫レ露店ヲ開キ又ハ呼賣ヲ爲ス者ニハ鑑札ヲモ付與セスシテ可ナリト云フハ別論ナリ苟モ鑑札ヲ付與

スル者ト爲ス以上ハ其制裁ヲ立サル可ラス論者或ハ原案ニ露店云云ノ文字ヲ加フルヲ以テ足ルト云フ可キモ前陳ノ如ク小營業者モ猶ホ五圓ノ罰金ヲ科セサルヲ得サルヲ奈何セン此ノ如キハ恐クハ反對論者ノ本旨ニモ背馳スルナル可シ

○十四番 大島圭介

原案ニ從ヘハ小營業者ニ酷罰ヲ加フルニ至ルヲ以テ修正ヲ加ヘタルハ之ヲ領ス然ルニ修正案ニ據レハ例ヘハ二十圓ノ營業稅ヲ納ム可キ者ニシテ第二條ニ觸ルルトキハ六十圓ノ罰金ヲ科スルヲ以テ大營業者ヨリ之ヲ論スレハ却テ嚴酷ナルヲ致セリ是等ハ姑ク置キ元來原案ノ如ク最少限ト最多限トヲ示セハ犯罪ノ事情ニ應シ判官ノ適當ニ罰ヲ科スルヲ得ルモ修正案ノ如クハ何様ニ愍諒ス可キ事情ヲ見ルモ例ヘハ二十圓ノ營業稅ヲ逃脫セル者ニハ

必ス六十圓ノ罰金ヲ科セサルヲ得ス豈ニ窮屈ノ法律ニ非スヤ故ニ本官ハ現問題ノ消滅スルヲ俟チ原案恢復說ヲ提出セントス但シ現問題ハ露店ヲ開キ又ハ呼賣ヲ爲ス者ヲ憐諒スル旨趣ニ出テ敢テ不可ナル無キヲ以テ原案恢復說ニ附加シテ提出スル有ル可シ因テ之ヲ豫陳ス

○十六番 伊丹重賢

原來本官ハ露店ヲ開キ又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ニハ鑑札料ヲモ免除センコトヲ欲スルモ昨日ノ修正說行ハレサル以上ハ復タ之ヲ奈何トモスル能ハス三十六番ノ修正說ハ露店呼賣者ニ係ル第二條ノ制裁ヲ附シ而シテ其罰モ酷ニ陷ラス眞ニ完備ナリト謂フ可シ因テ喜テ之ヲ贊成ス

○九番 三浦安

只今ノ本官ノ答辨ハ少シク遺漏アルヲ覺フ且十四番ノ

豫陳說ハ本問題ニ影響ヲ及スヲ恐ルヲ以テ聊カ補陳セン說ノ如ク
 三倍ト爲シタレハ大營業者ニハ却テ嚴罰ヲ科スルニ至ルモ原來菓
 子ハ酒烟艸ト同シク奢侈物ニ係リ其性質ニ於テ同一ノ罰例ヲ立テ
 サル可ラサレハナリ觀ヨ本官等ハ醬油稅則ノ調査委員ヲ兼ルモ彼
 レハ原案ニ據テ文字ヲ改メサルヲ是レ菓子ヲ酒烟艸ト同視スルモ
 醬油ノ然ラサルニ由ル若シ本條ヲ原案ニ復セハ醬油稅則ニ同ウス
 ルノ失當ヲ見ル要スルニ本官等ハ十四番ト異ニシテ原來菓子ヲ酒
 烟艸ニ同視スル者ト領會センコトヲ望ム

○十四番 大鳥圭介

本官ノ豫陳說ニ關スル九番ノ講義ヲ聞ケリ元來菓子
 ト酒烟艸ト同視ス可キヤ否ヤハ人人ノ意想ニ因ル本官ハ敢テ之ヲ
 同視セス夫レ酒モ醫藥ト爲リ餅菓子ハ胃ヲ害スルモ「カステイラ」

ハ病者ノ食餌ニ供ス一一之ヲ論セハ底止スル所ヲ知ラス然レトモ
 菓子ノ酒烟艸ト類ヲ異ニスルハ明白ナリトス政府ノ前キニ酒烟艸
 ニ課稅シ及ヒ増稅スル時ニ於テ菓子ニ及ハサリシヲ觀テ之ヲ知ル
 可シ然レハ則チ彼此同一ナリトスルハ九番等ノ一家言ト謂フモ恐
 クハ誣ヒサラン無要ノ辨ニ似タルモ聊カ之ヲ陳フ

○三番 箕作麟祥

酒烟艸菓子ノ三者ノ同視ス可キ者ナルヤ否ヤハ反對者
 タル十四番ノ辨スル如ク人人ノ意想ニ因ル可キモ本官等修正委員
 ハ皆之ヲ同視セリ朱書ノ修正ニ關スル主要ノ理由ハ只今九番ノ辨
 明ニ盡キタルモ他ニ一小理由ノ存スル有レハ之ヲ補陳セン修正案
 第十八條ノ罰金額ハ原案第十七條ト同一ナリ夫レ營業鑑札ヲ受ケ
 スシテ營業セルハ本則中ノ至重ノ犯罪ナルニ第十二條第十三條ノ

届書ヲ怠リ第十四條ノ帳簿ニ詐偽ノ記載ヲ爲シタル犯罪ト罰金額ヲ同ウスルハ輕重其權衡ヲ誤ル者ト謂フ可シ是レ修正ノ小理由ナリ論者或ハ云フ第十七條ニハ「現在ノ菓子及ヒ製造器械ヲ沒收ス既ニ賣捌キタル者ハ其代金ヲ追徴ス」ト言ヘル附加ノ罰ヲ設クレハ決シテ輕重ノ等差ナキニ非スト其レ然リ然レトモ菓子製造器械ハ酒造器械ト異ナリ概シテ簡單ナル物具ノミ無鑑札ニテ營業ヲ爲ス如キ奸商ナレハ賣得金ヲ隱匿スルヤ必セリ且ヤ酒烟艸ノ稅則ニハ無鑑札ニテ營業セル者ノ賣得金ヲ追徴スル明文アルモ常ニ其金額ノ調査ニ困シムト聞ク菓子ノ如キ亦必ス隱匿スル賣得金ノ多寡ヲ他人ヨリ證明スルハ甚タ難カル可ク而シテ「現在ノ菓子」ヲ沒收セハ公賣ニ付ス可キモ些少ノ金額ニ過キサレ可シ是ニ由テ之ヲ觀

レハ第十七條ノ罰例ハ到底「五圓以上云云」ニ止マリ他ハ其效用ヲ見ル能ハサラン然レハ則チ第十八條ト輕重ノ等差ナシト謂フモ失當ナラス是レ即チ修正ヲ加ヘタル所以ナリ

○五十四番村田保 十四番ノ豫陳セル修正說中「營業稅云云」ヲ原案ニ復スルハ是ナルモ「露店云云」ノ文字ヲ加フルハ非ナリ且本問題ニ關シ質問セン發議者ノ旨趣ハ本條ニ此修正ヲ加フルノミナル歟將タ第十八條第十九條ニモ修正ヲ加ヘントスル歟

○三十六番榎村正直 第十八條等ハ故サラニ修正セスシテ可ナリト信ス
 ○五十四番村田保 前キニ「露店云云」ニ關シ修正委員ハ修正ノ疎漏ナルヲ自白セリ然ルニ今其提出ニ係ル修正モ亦疎漏ニ出ツ何ソヤ曰ク其修正ハ露店又ハ呼賣ヲ爲シタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以

下ノ科料ニ處スト云フニ在リ第二條ニ違ヒ無鑑札ニテ營業スル者ハ其罪最モ惡ム可キニ露店呼賣者等ノ罰ハ僅ニ科料ニ止マリ而シテ修正案第十九條ノ第三條ニ違ヒ鑑札ヲ携帯セスシテ仕入又ハ出賣ヲ爲シタルハ前者ニ比スレハ其罪宜ク輕減スヘキ者ナルニ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ科スルハ權衡ヲ失セスマ元老院ニ在テ斯ル疎漏ノ修正ヲ加ヘハ何ヲ以テ之ヲ謝スルヲ得シ願クハ再ヒ修正委員ニ付シテ更ニ修正ヲ加ヘ以テ此ノ如キ疎漏ノ修正ヲ加フル無ラシコトヲ原案ニ「五圓以上云云」ト言ヘルハ充分ニ調査シ且審議セルニ出タルナラン本官ハ本條ニ對シテ修正說ヲ有スルモ數分時間ノ能ク盡ス可キニ非ス而シテ本日ハ已ムヲ得サル事故アリテ今將サニ退場セントシ言ヲ此ニ止ム

○十八番 柴原和

五十四番ハ疎漏ナル修正ナリト發言セリ本官因テ建議ヲ爲ス願クハ上席ヨリ暫ク五十四番ノ退場ヲ停止センコトヲ

退席

四十一番 町田 久成

同

五十四番 村田 保

○議長 五十四番ノ退場ハ陪食ノ故ニ係ルヲ以テ停止スル能ハス

○十八番 柴原和

然レハ本官ノ發言ハ此ニ止メン

○三十六番 棋村正直

五十四番ニシテ本案ヲ疎漏ノ修正ナリトセハ宜ク好修正ヲ提出スヘシ惟タ疎漏ナルヲ告ルノミニシテ退場スルハ殊ニ遺憾ト爲ス然レトモ五十四番ハ陪食ノ故ヲ以テ退場スルニ在ラハ本日ハ議事ヲ此ニ止メンコトヲ望ム

○十八番 柴原和

本官モ三十六番ト同感ナリ

○議長 修正委員ニ於テ疎漏ナラストセハ其理由ヲ陳ルモ可ナラン

○十八番 柴原和 五十四番ハ元老院ニシテ斯ル疎漏ノ修正ヲ加フト云

ヒ且修正ノ意見ヲ有スルモ退場スト云フヲ以テ之ヲ考フレハ若シ

本案ニ議決セハ五十四番ノ本官ノ在場セサリシ故ニ斯ル疎漏ノ修

正ニ決セリト云フヤ知ル可シ因テ散會セシコトヲ望ム

○議長 自己ノ議論ノ行ハレサル爲メニ非議スルコトハ萬モ之レ有

ル可ラス而シテ失言ヲ咎ルハ別ニ方途アラン今日議事ヲ止ムルト

否トハ之ヲ衆議ニ決セン

○十八番 柴原和 斯ル希望ハ議場ノ之ヲ許スヤ否ヤヲ知ラサレトモ本

官ハ前陳ノ如ク本會ヲ他日ニ延シコトヲ切望ス

○十四番 大鳥圭介 五十四番ノ元老院ニシテ斯ル疎漏ノ修正ヲ加フ云云

ノ言ハ獨リ此一議案ノミナラス本院ノ全體ニ關係セン故ニ此議事
ヲ完結スルニ難シ因テ本官モ本日ノ議事ヲ延ルヲ可トス

○議長 延會可否ノ決ヲ取ルモ可ナレトモ時午ニ近キヲ以テ午餐ノ
爲メニ暫ク散會セン

○十六番 伊丹重賢 修正委員ノ疎漏ナル歟將タ五十四番ノ疎漏ナル歟ハ
未タ知ル可ラス因テ先ツ延會スルヤ如何ヲ決シ而ル後ニ議場ヲ退
カンコトヲ望ム

○議長 兎モ角モ一旦散會セヨ

午前第十一時五分閉場

午後零時十分開場

- 退席
- 二番 小畑 美稻
- 同 四番 田中 芳男
- 同 五番 青山 貞
- 同 十三番 西村 貞陽
- 同 二十三番 鍋島 直彬
- 同 五十一番 津田 眞道

○議長 午前ノ續會ヲ開ク三十六番ノ第十七條ニ係ル修正説方サニ問題ニ在リ

○三番 箕作 麟祥 建議ヲ爲ス本官等ノ修正ニ據レハ鑑札ヲ受ケスシテ露店ヲ開キ又ハ呼賣ヲ爲セル者ノ罰例ヲ遺脱スルヲ以テ午前ニ修正委員ノ一人ナル三十六番ヨリ修正説ヲ提出シ本官等之ヲ賛成セリ

然ルニ某議官ハ修正案第十九條ノ上段ニ「第三條ニ違ヒ鑑札ヲ携帯セシテ云云」ト言ヘルヲ引キテ修正ノ權衡ヲ得サルヲ辨シ仍ホ其疎漏ヲ免レサルヲ痛駁セル有リ本官熟考スルニ「第三條ニ違ヒ云云」ト言ヘルニハ露店呼賣者ヲ包含セス故ニ此點ハ顧慮ヲ要セサルモ下段ニ「第七條ニ違ヒ云云」ト言ヘルハ實ニ露店呼賣者ヲ包含ス然レハ則チ營業鑑札ヲ受ケスシテ營業ヲ爲セルハ第十七條ニ據テ料料ニ處シ鑑札ヲ貸與セル等ハ第十九條ニ據テ罰金ニ處スルノ權衡ヲ得サルヲ見ル且又議事休憩中ニ某議官ノ修正案第十八條ニ係ル權衡論ヲ聽キ更ニ本官等ノ疎漏ニ失スルヲ覺フ是ニ由テ之ヲ觀レハ某議官ノ本案ヲ指シテ疎漏ノ修正ナリト評セルハ誣言ト謂フ可ラス午前ニ延會ノ建議出タルモ畢竟本官等ノ修正ノ疎漏ナルニ

由ル是レ本官等ノ各官ニ對シテ大ニ慚謝スル所ナリ因テ本官ハ本第十七條以下ヲ再ヒ修正委員ニ付託センコトヲ請フ第一讀會ニハ本官等誤テ修正委員ニ當選シ斯ル疎漏ノ修正ヲ爲シタルヲ以テ幸ニ此建議ニ決セハ今回ハ別ニ修正委員ヲ選定センコトヲ望ム

○三十六番 榎村 正直 賛成ス本官モ同感ナリ

○九番 三浦 安 賛成ス五十四番ノ辨論ニ關シ各官ヲシテ惡感觸ヲ生セ

シメタルモ畢竟本官等ノ修正ノ疎漏ナルニ由ルヲ以テ謹テ其罪ヲ滿場各位ニ謝ス

○十四番 大鳥 圭介 三番ノ建議ハ頗ル謙遜ニ出ツ三番ハ疎漏ノ修正ト云

フモ思フニ各官ト雖モ各條ニハ異見ヲ存セサル可シ平常ナレハ再ヒ修正委員ヲ置クモ或ハ可ナレトモ某議官ノ發言ヨリシテ此ニ至

ルハ心ニ快カラス因テ本官ハ依然議事ヲ繼續スルヲ欲ス若シ不完備ノ修正ニ決セハ第三讀會ニ之ヲ補フモ難カラサルノミ

○二十六番 鍋島 幹 本官モ十四番ト同感ナリ原來修正ノ主眼ハ第十七條ニ在ルノミ第十九條ノ如キハ縱令ヒ修正ヲ加フルモ少小ナラン若シ各條ニ修正ヲ要セハ再ヒ修正委員ヲ置クモ可ナレトモ僅ニ一二條ノ爲メニ之ヲ置クハ宜キヲ得ス且ヤ十四番ノ云ヘル如ク完備ノ修正ヲ得サルモ第三讀會ニ之ヲ補フヲ得レハ議事ヲ繼續センコトヲ望ム

○十八番 柴原 和 本官ハ修正委員ナレハ當然ニ三番ノ建議ニ同意ス可キモ少シク異見ヲ懷ク前會ニ或ル議官ハ第一條ニ露店又ハ呼賣ヲ爲ス者云云ノ但書ヲ加ヘ以テ此二者ノ營業稅ヲ免セントスル動議

ヲ發セリ然レトモ其位地若クハ字句ノ穩安ナラサル爲メナルカ賛成者ヲ得ス三番ノ如キモ第三讀會ヲ俟テ前陳ノ動議ト同一ノ旨趣ニ因リ同條ノ「營業者」ノ下ニ插註ヲ加フル動議ヲ發スルヲ豫陳セリ是ニ由テ之ヲ觀レハ第十七條以下ノ修正委員ニ付託スルモ第三讀會ニ至ラハ恐クハ第一條ニ關シテ紛議ヲ免レサル可シ然レハ則チ修正委員ヲ置クモ其功效ヲ見ス且ヤ本官ハ自負ニ似タレトモ本條以下ニ於ルモ疎漏ノ點ナキヲ信ス五十四番ハ本條ニ露店云云ノ修正ヲ加ヘントスルニ關シ修正案第十九條ノ上段ヲ引キテ疎漏ノ修正ナリト痛駁セルモ只今三番モ云ヘル如ク彼ハ露店等ヲ包含セサレハ之ヲ疎漏ト咎ム可キニ非ス又三番ハ修正案第十九條ノ下段ヲ引キテ自ラ疎漏ナル修正ト云フモ是レ未タ疎漏ト爲スニ足ラス

又三番ノ修正案第十八條ニ關シ疎漏ノ點アリト云ヘルハ果シテ如何ナル點ヲ指ス耶又ハ第十四條ノ帳簿ナル文字ヲ加ヘタルヲ指ス乎然レトモ第十四條ノ帳簿ニ詐僞ノ記載ヲ爲スハ尤モ惡ム可キヲ以テ之ヲ此ニ加ヘタルノミ是亦疎漏ト咎ム可キニ非ス本官ノ所見ハ此ノ如シ故ヲ以テ本官ハ修正委員ヲ置シヨリ寧ロ第三讀會ニ至リ第一條ニ關シテ紛議ヲ生セハ乃チ之ヲ置クヲ可トス本官ノ午前ニ延會ヲ請ヒタルハ敢テ五十四番ノ言語ヲ責ルノ意ニ出タルニ非ス一ハ元老院ノ體面ヲ思ヒ一ハ五十四番ノ修正說ヲ有スルモ本日ハ之ヲ陳ル能ハスト云ヘルニ由レリ故ニ若シ五十四番ニシテ在場セハ本官ハ或ハ三番ノ建議ニ左袒シテ五十四番ヲ修正委員ニ選舉シ好修正ヲ得ルヲ望ム可キモ退場後ニ係レハ之ヲ修正委員ニ選

フモ爲メニ幾許ノ日子ヲ要セントス前陳ノ理由ナルヲ以テ本官ハ修正委員ノ一人ナルニ拘ラス三番ノ建議ニハ起立セサルナリ

○十六番 伊丹重賢

本官ハ偶然ニ第十七條ニ脱漏ノ點アルヲ發見セシニ

幸ニ修正委員ヨリ修正說ヲ提出セリ若シ此修正說ニ決セハ本條ハ啻ニ疎漏ノ點ナキノミナラス善ク完備セリト謂フ可シ其他ハ本案ニ不完備ノ點アリト云フモ本官ハ之ヲ知ラス三番ノ建議ハ謙遜ノ美德ニ外ナラス本官ハ過刻五十四番ノ論辨ヲ聽キ好修正ヲ得ン爲メニ延會說ヲ是認セシモ退テ考フルニ本案ハ急決ヲ要スルヲ以テ直チニ議事ヲ繼續スルヲ可トス因テ三番ニ同意セス

○三番 箕作麟祥

本官ノ建議ハ謙遜ニ出ルニ非ス眞ニ修正ノ疎漏ヲ知ル

ニ由ル本條ト修正第十九條トノ權衡ヲ失スルハ既ニ之ヲ說ケリ又

本條ト修正第十八條トノ權衡ヲ失スル所以ハ本條ノ修正ニ據ルニ其最少罰金額ハ三圓ニシテ修正第十八條ノ最少罰金額ハ五圓ナリ而シテ其罪狀ヲ比較スルニ本條ニ違フハ重ク第十八條ニ違フハ輕シトス但シ本條ニハ罰金ノ外ニ附加ノ罰ヲ設クルモ未タ以テ彼此權衡ヲ誤ラストハ謂フ可ラス是レ或ル議官ノ忠告シ本官ノ認テ權衡ヲ得スト爲ス所以ナリ又露店呼賣者ヲ本案ノ範圍外ニ置クノ一事ハ昨日ノ議場ノ景況ニ因テ之ヲ考フルニ恐クハ第三讀會ニモ行ハレサラン又若シ果シテ行ハレハ隨テ其他ヲ修正スルモ可ナリ既ニ露店呼賣者モ範圍外ニ置カストシテ斯ク論スル以上ハ終始其主義ヲ一貫スルモ決シテ不可ナル無シ單ニ一條ト雖モ修正委員ニ付託セル前例ノ在ル有レハ本條ノミヲ付託スルモ可ナレトモ他條ニ

牽連スルヲ以テ本官ハ本條以下ヲ付託セント欲スルナリ敢テ自説
ヲ固執スルニ非ス

○三十五番 細川潤次郎

三番ノ建議ニ同意ス過刻或ル議官モ陳タル如ク
刑法其他ノ罰則ヲ觀ルニ罰金ハ概シテ最多限ト最少限トヲ示シ判
官ヲシテ犯罪ノ情狀ニ應シ其金額ヲ定メシム然ルニ此朱書ノ如ク
シハ復タ判官ノ腦力ヲ要セス惟タ加算法ノミヲ要スルノミ是レ或
ル場合ニハ可ナレトモ運用上ノ妙用ヲ缺ントス且ヤ本條ハ烟草稅
則ニ據テ修正ヲ加ヘリト云フモ彼ハ惟タ營業稅ヲ課スルノミ故ニ
可ナルモ此ハ營業稅ト賣上金高トノ二種ノ課稅ナレハ營業稅ノミ
ヲ逋脫スト謂フ可ラス即チ苛酷ニ涉ルモ理論上ヨリ之ヲ言ヘハ寧
ロ營業稅製造稅ニ係ル逋脫云云ト爲スニ若カス然レトモ是レ素ヨ

リ採取ス可キノ説ニ非ス以上ノ二點ヨリ考察スレハ本條ハ寧ロ原
案ニ復スルヲ優レリトス修正委員ヲ置ケハ別ニ考案アル可キモ聊
カ其參考ニ供ス三番等ノ自ラ本案ノ修正ヲ疎漏ナリト云フハ謙遜
ノ美德ナランモ或ハ疎漏ノ點ヲ見ル無キニ非ス然レトモ書ヲ校ス
ルハ落葉ヲ掃フカ如シ到底完全無缺ナルヲ期ス可ラス本條以下ト
雖モ議場ニ於テ修正ヲ加フル能ハサルニ非ス然レトモ別席ノ修正
却テ速カニ議事ヲ完結ス可キヲ以テ三番ニ同意ス但シ三番ハ新修
正委員ヲ選ヒテ現修正委員ニ換ント云フモ本官ハ之ヲ要セスト信
ス

○議長 三番ノ特別建議ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者七人

○議長 少數ナルヲ以テ三番ノ建議ハ消滅ス乃チ三十六番ノ修正説
ノ決ヲ取シ

○十四番 大鳥圭介 三十五番ノ陳辨ヲ聽クニ恰モ本官ト同感ナルニ似タ
リ三番ノ陳ル所ノ本條ト第十八條トノ權衡ヲ得ス云云ノ顧慮モ畢
竟本條ノ朱字ノ存スルニ由ル三倍ト爲スハ一方ヨリ之ヲ觀レハ頗
ル可ナレトモ他ニ障礙ヲ生スルハ既ニ辨明セシ所ノ如シ故ニ切ニ
本問題ノ成立セサランコトヲ望ム

○十九番 籠手田安定 本官ハ十四番ノ豫陳説ヲ賛成ス

○外番 岩崎小二郎 本員等ハ修正委員會ニ出席シタルヲ以テ其議ヲ與
リ聞ケリ當時本員ハ此修正ヲ穩當ニシテ障礙ナキ者ト思量シテ之
ニ同意セシニ豈圖シ修正委員ノ陳ル如ク本修正ニ據レハ露店呼賣

者ノ罰ヲ脱セリ蓋シ其稅ヲ輕減スルハ可ナルモ脱稅ハ提轄セサル
可ラス是等ノ障礙ヲ生スル以上ハ十四番ノ豫陳説ヲ寧ロ妥當ナリ
トス因テ本員ハ其説ノ行ハレンコトヲ望ム且各位ノ參考ニ供スル
爲メニ一言セン内閣ノ本條ヲ制定スルニ酒造烟草稅則ニ倣ハサリ
シハ例ヘハ二十圓ヲ逋脱セハ六十圓ヲ課スルノ苛酷ニ失スルト某
議官モ云ヘル如ク判官ノ運用ヲ缺クトノ二理由ニ出ツ然リ而モ是
レ一利一害アリテ原案ニ據レハ小營業者ヲ嚴罰スル缺點ヲ免レス
然レトモ過刻來各位ノ議論ヲ聽キ尙ホ熟考スルニ本條ハ本案ノ大
骨子ニシテ何人ト雖モ本法ヲ遵奉セハ素ヨリ罰ノ受ク可キ無ク畢
竟怠慢若クハ過誤ニ由ル但タ故意ヲ以テ本法ヲ犯ス者ハ其罪尤モ
惡ム可レハ小營業者ト雖モ五圓ノ罰金ヲ課シテ可ナリ

○三十七番 神田孝平 本官ハ全ク原案ニ復スルヲ望ムモ既ニ露店呼賣者ノ營業稅ヲ免除セサルニ決シタル以上ハ已ムヲ得ス十四番ノ豫陳說ニ同意シ尙ホ第三讀會ニ前二者ノ營業稅ヲ免除スル修正說ノ出ルヲ俟テ之ヲ賛成シ幸ニ可決セハ本條モ隨テ修正ヲ加ヘント欲スルナリ

○議長 三十六番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ
起立者六人

○議長 少數ナルヲ以テ三十六番ノ修正說ハ消滅ス

○十四番 大鳥圭介 本官ハ本條ノ上段ヲ原案ニ復シ且只今消滅セルト同一ノ修正ヲ加フルヲ欲ス但シ三十七番ノ陳ル如ク第三讀會ニ於テ露店呼賣者ノ營業稅ヲ免除スルニ決セハ此附加ノ修正ハ素ヨリ不

用ニ歸スルモ只今ハ之レ無ケレハ苛酷ニ陷ルヲ以テ併セテ此修正說ヲ提出ス其修正ノ理由ハ本官モ既ニ之ヲ辨シ他ノ議官モ已ニ之ヲ說キタルヲ以テ復タ贅セス

○十八番 柴原和 賛成ス三十六番ノ修正說消滅セル以上ハ已ムヲ得サルナリ第三讀會ニ修正委員ヲ置クニ決シ又ハ逐條ニ修正ヲ加フルニ決セハ隨テ好修正ヲ得ントス故ニ本日ハ是等ノ修正ヲ加ヘテ纏縫スルニ如カス

○三十六番 榎村正直 賛成ス熟考スルニ本條ノ上段ハ原案ニ復スル却テ可ナリ加之本說ハ本官等ノ憂慮スル露店呼賣者ノ事ヲモ舍テサルヲ以テ一層宜キヲ得タリ或ハ第三讀會ニ至リ露店呼賣者ノ營業稅ヲ免除スル動議ヲ發セントスル議官アルモ本官ハ之ニ同意セサル

ナリ

○議長 十四番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十六番 伊丹重賢 三十六番ノ修正説消滅セル以上ハ現問題ヲ賛成ス蓋

シ此修正ヲ得スンハ本官等ノ初ヨリ憂慮スル苛酷ノ點ニ歸セント
ス因テ其成立ヲ望ム

○九番 三浦安 本條ニ關シテハ嘗テ修正委員席ニ於テモ種種ノ紛議ヲ

生シ結局露店呼賣者ニ係ル罰例ヲ輕クスル爲メニ朱書ノ修正ヲ加
ヘタリ然ルニ本日モ議論百出シテ適從スル所ヲ知ラス是ヲ以テ之
ヲ考フレハ本場ニ在テ即時按出ノ修正ヲ加ヘンヨリ寧ロ全ク原案
ニ復シ第三讀會ヲ俟テ更ニ修正ヲ加ルニ若カス因テ本官ハ現問題
消滅セハ此説ヲ提出セン

○三番 築作麟祥 本官ハ九番ト同感ナリ畢竟此紛議ハ本官等營業稅逋脫

云云ノ修正ヲ加ヘタルニ出ツ熟考スルニ原案ハ惟タ苛酷ナルノミ
善ク他ノ條項ト權衡ヲ保テリ現問題ニ據レハ忽チ修正案第十九條
ノ「鑑札ヲ貸借賣買云云」ト權衡ヲ失セントス即チ鑑札ヲ受ケスシ
テ露店ヲ開キ呼賣ヲ爲シタル者ハ科料ニ處シ鑑札ヲ貸借賣買セル
者ハ却テ罰金ニ處スル如キ是レナリ且前項ノ場合云云ト云フモ實
ハ無用ニ屬ス此字句ハ本官等前キニ賛成セル者ト異ナラサレトモ
全體ノ行文ト異ナルヲ見ル故ニ此説ヲ爲スノミ加之現問題ハ未タ
全ク原案ノ苛酷ヲ救ヘリト謂フ可ラス因テ本官モ亦寧ロ全ク原案
ニ復スルヲ是認ス

○十四番 大鳥圭介 九番等ハ前キニ三十六番ヲ賛成セルニ非スヤ議論紛

雜スト云フモ本官ハ毫モ紛雜セスト思考ス本官等ノ主眼ト爲ス所
ハ本條ヲ原案ニ復スルニ存シ而シテ之ニ次クニ注意周到セル露店
呼賣者ニ係ル修正ヲ附加セント欲スルノミ九番等ハ既ニ原案ニ復
スルヲ是認シ而シテ前キニ賛成セル露店呼賣者ニ係ル修正ヲ此ニ
附加スルヲ非視シ以テ紛雜云云ト辨スルハ本官其故ヲ解セス但シ
第三讀會ニ於テ露店呼賣者ノ營業稅ヲ免除スルニ決セハ隨テ本條
等ヲ修正スル素ヨリ難カラサルナリ

○十九番 籠手田 安定 本官ハ前キニ十四番ヲ賛成セシモ今改メテ九番ヲ
賛成ス

○九番 三浦 安 十四番ノ修正說ハ本官等前キニ賛成セル修正說ノ一半
ヲ採擇シ他ハ原案ニ據ルニ在レハ喜テ賛成ヲ表ス可キモ次條ト權

衡ヲ失スル缺點ヲ致スヲ以テ本官ハ一刀亂糸ヲ斷ツノ意ニ則トリ
寧口全ク原案ニ復セント欲スルノミ本官ノ前說ハ或ハ過激ニ涉リ
シヤヲ知ラサレトモ要スルニ敢テ十四番ヲ駁撃セシニ非サルナリ

○三十五番 細川 潤 次郎 本官モ九番ト同感ナリ原來數種ノ修正說出レハ
常ニ混雜ヲ免レス修正案ニ據シ乎障礙ヲ生スルハ既ニ之ヲ說ケリ
現問題ニ從シ乎他條ト權衡ヲ失スルハ實ニ某議官ノ陳ル如シ若シ
全ク原案ニ復スルトキハ一舉シテ障礙悉ク除カン故ニ十四番ノ說
ニハ半ハ同意スルモ全ク同意スル能ハス因テ本官ハ三番ナリ九番
ナリ將タ十四番ナリ原案回復說ヲ出スヲ俟テ之ニ左袒セントス但
シ「受」ノ下ニ「ケ」字ヲ加ヘハ更ニ可ナラン

○議長 十四番ハ「ケ」ノ字ヲ加フルノ意ナルカ

○十四番 大鳥圭介 之ヲ加フルナリ

○議長 十四番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者八人

○議長 少數ナルヲ以テ十四番ノ修正説ハ消滅ス

○九番 三浦安 斯ク種種ノ修正説續出シテ混雜ヲ致セル以上ハ寧ロ一

刀亂糸ヲ斷ツノ措置ヲ可トス且此混雜ヲ生セシハ畢竟本官等ノ無

用ナル修正ヲ加ヘタルニ由レハ豫陳セル如ク本條ヲ全ク原案ニ復

シ惟タ前後字句ヲ一ニスル爲メ「受」ノ下ニ「ケ」ノ字ノミヲ加ヘン此

動議ノ理由ハ既ニ辨シ盡セルヲ以テ復タ贅セス幸ニ賛成ヲ請フ

○十八番 柴原和 九番ヲ賛成ス然レトモ混雜セル爲メニ一刀亂糸ヲ斷

ノ旨趣ヲ以テ原案ニ復ス可シト云ヘル理由ハ本官ノ取ラサル所ナ

リ

○十六番 伊丹重賢 賛成ス畢竟營業稅云云ノ朱字ノ存スルカ故ニ障礙ヲ

生ス速カニ本修正説ニ決センコトヲ望ム

○三番 箕作麟祥 賛成ス修正委員ヨリ原案回復説ヲ提出シ又之ニ左袒ス

ルニ至リシハ本官等實ニ無用ノ修正ヲ加ヘタルニ由ル謹テ疎漏ノ

罪ヲ謝センノミ尙ホ第三讀會マテニ熟考ス可キモ今ヤ朱書修正ノ

眞ニ失當ナルヲ確認ス

○十四番 大鳥圭介 賛成ス原來本條ヲ原案ニ復スルハ本官ノ素論ナリ

○議長 九番ノ修正説ハ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○三十五番 細川潤次郎 喜テ賛成ス此ノ如クセハ無鑑札ノ露店呼賣者ニ

五圓ノ罰金ヲ課スル苛酷ヲ見ルモ是レ決シテ憂慮スルニ足ラス内

閣委員モ陳ル如ク苟モ制裁法ヲ設ケテ法律ヲ遵守セシムル以上ハ
已ムヲ得サルナリ

○議長 九番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ
起立者二十二人

○議長 多數ナルヲ以テ九番ノ修正説ニ決ス

書記官 西山 眞平 朗讀

第十九條

第十二條第十三條ノ届書又ハ第十四條ノ帳簿ニ詐偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ五圓以上五
十圓以下ノ罰金ニ處ス

退席

十六番 伊丹 重賢

○議長 發議ナキヲ以テ可定ト認ム

書記官 西山 眞平 朗讀

第十八條

第三條ニ違ヒ鑑札ヲ携帯セスシテ仕入又ハ出賣ヲ爲シタル者及ヒ
第七條ニ違ヒ鑑札ヲ貸借賣買又ハ讓受讓渡ヲ爲シタル者ハ二圓以
上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

○議長 可定ト認ム

書記官 西山 眞平 朗讀

第二十條

第五條第六條第十二條第十三條ノ届出ヲ怠リタル者及ヒ第十四條
ノ帳簿ニ記載ヲ怠リタル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ料料ニ
處ス

○議長 可定ト認ム

書記官 西山 眞平 朗讀

第二十一條

此規則ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及ヒ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

○議長 可定ト認ム

書記官 西山 眞平 朗讀

第二十二條

菓子營業者ノ家族雇人ニシテ其營業ニ係リ此規則ヲ犯シタルトキハ其營業者ヲ處罰ス

○議長 本條ヲ可トスル者ハ起立セヨ

總員起立

○議長 全會一致ナルヲ以テ本條ニ決シ此ニ第二讀會ヲ畢ル第三讀會ノ期日ハ追テ報告セン散會セヨ
午後第一時四十分閉場

元老院會議筆記明治十八年四月三十日

禁傍聽

○第四百六十六號議案菓子稅則第三讀會

議長東久世通禧

出席議員

三番	箕作麟祥
四番	田中芳男
五番	青山貞
六番	津田出
八番	西周
九番	三浦安
十番	福原實

十一番	長松 幹
十三番	西村 貞陽
十四番	大鳥 圭介
十六番	伊丹 重賢
十八番	柴原 和
十九番	籠手田 安定
二十四番	楫取 素彦
二十六番	鍋島 幹
二十七番	壬生 基修
二十八番	神山 郡廉
三十一番	上杉 茂憲

三十二番	宮本 小一
三十三番	橋口 兼三
三十五番	細川潤次郎
三十六番	榎村 正直
三十七番	神田 孝平
三十八番	岩村 定高
三十九番	大久保一翁
四十番	渡邊 清
四十一番	町田 久成
四十三番	伊集院兼寛
四十四番	由利 公正

- 四十六番 田邊 太一
- 四十八番 中島 錫胤
- 五十一番 津田 眞道
- 五十三番 黒田 清綱
- 五十四番 村田 保
- 五十五番 久我 通久
- 内閣委員 一番外 参事院議官 宍戸 璣
- 同 二番外 参事院議官補岩崎小二郎
- 同 三番外 参事院員外議官補神鞭 知常

午前第十時開場

○議長本日ハ第四百六十六號議案ノ第三讀會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

布告案

菓子税則別紙ノ通制定シ 年 月 日ヨリ施行ス

但東京府管轄伊豆七島小笠原島函館縣沖繩縣札幌縣根室縣ハ當分之ヲ施行セス

右奉 勅旨布告候事

出席 十五番 長岡 護美

○議長 本案ヲ可トスル者ハ起立セヨ

起立者三十四人

○議長 多數ナルヲ以テ本案ニ決ス

書記官 森山 朗讀

菓子税則

第一條

菓子業者ヲ分テ左ノ三種トス

菓子製造人

菓子ヲ製造シ之ヲ菓子業者ニ賣渡ス者ヲ云フ

菓子卸賣人

菓子ヲ買入レ之ヲ菓子業者ニ賣渡ス者ヲ云フ

菓子小賣人

菓子ヲ需用人ニ賣渡ス者ヲ云フ

○三番箕作麟祥

聊カ本條ヲ修正セン其理由ハ第二讀會ニ稍ヤ端緒ヲ啓キタル如ク即チ本項ノ業者ノ下ニ露店又ハ呼賣ヲ業トスル者ヲ除クノ文字ヲ割註ト爲シテ挿入スルニ在リ抑モ此小賤業者ニ對シ營業稅製造稅ヲ免除スルハ政府ノ恩惠ニシテ原案ノ各條皆此二者ヲ度外ニ置キ第十三條ニモ賣上高ノ届出ヲ要セサルコトヲ言ヘリ

蓋シ是レ本官輩ノ修正ニ係ルト雖モ其實ハ原案ノ遺漏ヲ補足シタルノミ第十四條ニモ露店呼賣者ノ製造原品ノ賣買ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要セサルハ實ニ當然ナリトス唯第二條ニ於テ二十錢ヲ納メテ營業鑑札ヲ受ケシムル一事ヲ掲ケ而シテ若シ此鑑札ヲ受ケスシテ營業スレハ第十七條ヲ以テ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處スルハ苛酷ニ失ス故ニ本官等修正ヲ加ヘテ之ヲ緩和セシモ第二讀會ニハ遂ニ其修正ノ完備ナラサル爲メニ原案ニ復セリ且第五條ノ鑑札ヲ毀損シ又ハ代替改名轉居ノトキ管廳ニ届出テ再渡又ハ書換ヲ請フコトヲ怠レハ第二十條ノ科料ニ處シ第六條ノ業者ノ中ニハ露店呼賣者ヲモ包含セリ是亦廢業スルニハ管廳ニ届出サル可ラス若シ之ヲ怠レハ第二十條ノ罰ニ處シ第七條ノ鑑札ノ規約ニ違ヘハ

第十九條ノ罰金ヲ科スル等皆他ノ製造人營業人ト同一ナル關係ヲ有ス然ルニ本府下ニ在テ露店呼賣者ノ實況ヲ目撃スルニ僅僅十錢二十錢ノ菓子ヲ製造人ヨリ買受ケ箆箆ヲ張りテ店賣スル有リ又ハ異形ノ扮装シテ市街ヲ呼賣スル有リ此等ハ皆是レ貧民ニシテ纔ニ今日ノ生活ヲ爲ス者ナリ田舎ニ至テハ最モ以テ然リトス此等ノ貧民モ二十錢ヲ納メテ鑑札ヲ受クレハ可ナレトモ蠢爾タル賤民ハ法律ノ何タルヲ知ラス爲メニ鑑札ヲ受ケスシテ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラレ又ハ届出ノ手數ヲ怠レル爲メニ科料ニ處セララル如キハ實ニ愍然ナリトス有心故造ハ論外ナレトモ知ラス識ラズ此科罰ニ陷ル如キ其心情ハ何如ソヤ府下ノ人民ナラハ營業願出等ハ住居地ノ差配人ニ問フテ知ルヲ得ヘキモ届出等ノコトハ管廳ニ

係ル者ナリ此等ノ賤民ハ今日ハ淺草區ニ在ルモ明日ハ芝區ニ移ル等住處概ネ不定ナルヲ以テ其届出モ口ツカラ區役所ノ受付員ニ届出ルノミナラハ手數簡ナルモ區役所ハ必ス書面ヲ以テ届出シム可ク然ルトキハ代書人ニ依頼シテ六七錢ノ手數料ヲ費シ二三時間ヲ消シ二十錢ノ鑑札料ヲ納メテ鑑札ヲ受ケタルモ半日ヲ徒費シタル爲メニ忽チ明日ノ生計ニ困難ヲ與ヘントス故ニ收稅上ノ不肅ヲ防ク爲メニハ已ムヲ得ス十把一束ニ本案ノ檢束ヲ要スレトモ露店呼賣者ノ如キハ原案既ニ其營業稅製造稅ヲ免除セリ蓋シ露店呼賣者ヲ本案ノ外ニ置クモ普通ノ製造人營業人ノ脫稅ヲ謀ル爲メニ露店呼賣者ニ混入ス可キニ非スシテ其間ノ區別ハ判然ナリトス然レハ則チ露店呼賣者ニ鑑札ヲ與ヘテ檢束スルハ要用ナラス試ニニ檢察

官ノ位地ニ立テ之ヲ論スルモ彼ノ古物商條例案ノ會議ニ當リ内閣委員ハ種類多ケレハ精神集マラスシテ檢察ニ便ナラス故ニ重要ナル者ノミヲ舉ケテ以テ種類ヲ少ナクセリト辨明セシコト有リ本官等モ實ニ其辨明ノ正當ナルヲ信セリ故ニ本案ノ如キモ露店呼賣者ニ對シ嚴密ニ檢束ヲ施サントスレハ爲メニ重要ナル他ノ製造人營業人ノ檢束ニ疎脱ヲ生スルヲ免レス是ヲ以テ露店呼賣者ヲ法律ノ外ニ置キ他ノ檢束ニ精神ヲ注クヲ得策ト爲ス且又布告案ニ北海道伊豆七島等ヲ本案ノ外ニ置クハ一ハ檢察ノ周到セサルト一ハ未開ノ人民ヲ保護スルトニ出タルナル可シ然ラハ則チ内地人民ト雖モ毎日僅ニ得ル小利ニ賴リテ炊煙ヲ揚クル如キ蠢民ニ對シ課税ノ目的ニ非サル手數ノ爲メニ之ヲ苦ムルハ奉勅旨布告ノ法律ヲ以テ爲

ス可キノコトニ非ス檢束上ヨリ之ヲ言フモ決シテ此二者ヲ外ニスル爲メニ他ノ製造人營業人ノ檢束ニ支障ヲ生スル無ラン幸ニ前陳ノ修正ニシテ議場ニ採用セラレハ他ノ各條ノ露店呼賣云云ハ悉ク之ヲ削除シ第十一條ノ末項ノ「及ヒ」以下モ亦之ニ準セントス之ヲ要スルニ體面上ヨリ論シ來ルモ帝國政府ノ發布スル法律ナレハ是等ノ細民ハ必ス之ヲ度外ニ置カサル可ラス

○十六番 伊丹重賢

欣然三番ヲ賛成ス前會ニ本官ハ三番ノ現說ト同一ノ意思ヲ辨明シテ修正說ヲ提出セシモ其字句ノ穩妥ナラサルト位地ノ其所ヲ得サルトノ爲メニ遂ニ消滅シタルモ幸ニ三番ノ現說ノ出ルニ會フ是レ實ニ吾心ヲ獲タル者トス蓋シ本案ハ國庫ノ闕乏ヲ補フ爲メニ已ムヲ得ス下付セル者ナレトモ獨リ貧民ニ限り營業製造

二税ヲ免除シ唯其鑑札料ノミヲ納メシムルハ政府ノ仁惠ナリ風月堂榮太樓ノ如キ菓子商ニ課税スル爲メニ此細民ニ困難ヲ與フルハ所謂城門火ヲ失シテ殃ヒ池魚ニ及フ者ナリ嘗テ地方ニ在任セシ議官ハ法律上ノ管廳ハ實際上ノ郡役所ナリト云ヒ又一議官ハ郡役所ト雖モ或ハ二十里ノ山河ヲ隔ル有リト云ヘリ果シテ然ラハ法律上ノ管廳ハ實際上ノ郡役所ナリト假定スルモ二十里内外ノ距離ヲ存シ翁媪ノ杖ニ扶ケラレテ鑑札受有ノ爲メニ旅行スルハ甚タ苦ム所ナラン市街ニ在ル露店呼賣者ハ朝ニ九錢ヲ他人ニ借り問屋ニ就キテ菓子ヲ買入レ以テ之ヲ十二三錢ニ賣リ而シテ前ニ借タル九錢ノ利子一錢ヲ添ヘ十錢ト爲シテ財主ニ償還シ其餘ス所ノ二三錢ヲ以テ今日ノ生活ヲ爲シ明日モ亦此例ニ仍リテ生業ヲ營スルト聞ク此

ノ如キハ豈ニ本案ヲ施ス可キ者ナランヤ切ニ三番ノ修正ノ成立スルヲ望ム

○二十六番 鍋島 幹 賛成

○三十一番 上杉 茂憲 賛成

○三十七番 神田 孝平 賛成

○三十二番 宮本 小一 賛成

○議長 三番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲ス

○十八番 柴原 和 本官ハ現問題ヲ賛成セス蓋シ醬油税則煙草税則等ニ

モ敢テ脚註ヲ加フル無キニ非サレトモ他ハ事物ニ對スル註解ノミ然ルニ主要ナル免税ノ事ヲ脚註ト爲サントスルハ本官未タ其類例ヲ見ス寧日別項ト爲スカ若クハ第八條ニ加註セハ或ハ可ナラン眼

ヲ轉シテ反對ノ點ヨリ之ヲ論スレハ原案ヲ是ナリトス現問題ノ發
 議者及ヒ賛成者ハ手續煩雜ナリ法律ノ體面ヲ汚スト云フモ是レ素
 ト已ムヲ得サルノミ鑑札ヲ受有セシムルハ決シテ脱税ノ檢束ニ關
 スルニ非ス思フニ菓子呼賣人等ハ間マ或ハ故ナクシテ人ノ門戸ニ
 入り窃盜ヲ爲スコト有リ是ヲ以テ其身元ヲ明白ナラシムル爲メニ
 鑑札ヲ受有セシムルナリ彼ノ人力車夫ニモ鑑札ヲ受有セシムルニ
 非スマ故ニ鑑札料ヲ減殺ス可シト云フハ可ナレトモ身元ヲ表示ス
 ル檢束方法ヲ蔑如ニ付スルハ解スルヲ得ス郡役所モ或ハ遠距離ニ
 在ル者アレトモ是等ハ地方廳自ラ便宜法ヲ設ケテ事ニ從ハン現ニ
 人力車ノ檢印ノ如キモ山河遠隔ノ地方ニ在テハ地方廳ヨリ豫メ某
 月日某郡村ヲ新造人力車ハ某地ニ官吏ヲ派出シテ檢印スト廣告シ

以テ一時ニ檢印ヲ了スル等ノ便法ヲ行ヘリ到底鑑札ハ身元ヲ表示
 スル記識ナレハ之ヲ受有セシムルヲ必要ナリトス故ニ假令三番ノ
 旨趣ニ同意スルモ第一條ノ脚註ト爲スハ不可ナリ

退席

十四番

大鳥 圭介

○三番 箕作 麟祥

十八番ハ脚註ト爲スヲ體裁ヲ得スト難セリ本官ハ脚註
 ト爲スモ將タ別項ト爲スモ敢テ擇ム所ニ非サレトモ今日ハ既ニ第
 三讀會ナレハ些細ナル體裁ノ何如ニ關シテ主旨ノ貫徹セサルヲ憾
 ム十八番ハ原案ヲ主持スル爲メニ菓子呼賣人ハ故ナクシテ人ノ門
 戸ニ入り窃盜ヲ爲ス者アルヲ以テ其身元ヲ明白ナラシムル爲メニ
 鑑札ヲ受有セシムト云ヘリ此論旨ハ本官ノ解スル能ハサル所ナリ
 論者ノ説ク所ハ是レ警察上ノ事ニ係ル彼ノ古物商等ノ鑑札ハ然ル

可キモ若シ此意ヲ以テ本案ヲ論セハ堂堂タル菓子商風月堂ノ如キ
モ鑑札ヲ受有セシムルハ窃盜ノ檢束ニ出ルト爲ス耶人力車夫ニ鑑
札ヲ下付スルハ人力車其物ニ課税スルカ爲メナリ要スルニ紙屑買
古金買ノ如キ賤業者ニハ窃盜ノ罪慮アレトモ露店呼賣ヲ業トスル
菓子商ノ鑑札ハ窃盜ノ豫防ニ充ルニ非サルナリ原案ハ正當ナル營
業人ノ露店呼賣者ノ中ニ隱匿シテ脱税ヲ圖ルヲ防ク爲メニ鑑札ニ
明記シテ以テ之カ區別ヲ明ニセント欲スルニ在リ然レトモ此罪慮
ニ出ル檢束ハ實際ニハ徒事タルノミ

○五十一番 津田眞道 問題說ヲ賛成ス蓋シ本案ハ實ニ已ムヲ得スシテ賛
成スル如キ者ナレハ極貧ノ細民ニ迷惑ヲ及ホスハ甚タ好マサル所
トス異様ニ扮裝シテ街衢ニ舞蹈シ以テ菓子ヲ賣ル有リ此徒ハ專ラ

菓子ヲ賣ルニ非ス舞蹈ヲ爲シテ乞丐スルナリ此ノ如キ乞丐ニモ本
案ヲ施行ス可キヤ十八番ハ本邦ノ法律ニ間マ脚註ヲ下ス有ルハ其
釋義ニ係ルト云フモ本邦ノ法律ニシテ釋義ニ非サル脚註ノ存スル
ハ其例甚タ多シ又風月堂等ノ菓子商ヲ引證スレトモ此風月堂ノ資
本ト雖モ他ノ商業ニ比スレハ僅少ニシテ其雇人モ必ス多數ニ非サ
ラン雇人既ニ少數ナラハ其利益モ推知ス可キナリ要スルニ是等薄
利ノ商業ニ課税スルハ望マサル所ナレトモ已ムヲ得ス賛成スルノ
ミ

退席

十九番

籠手田安定

○九番 三浦安 本官ハ問題說ヲ是認セス發議者ハ露店呼賣者ノ憐ム可
キ情態ヲ間接直接ニ説明シテ漏スコト無シ蓋シ此一點ヨリ論斷ス

レハ實ニ然ル如キモ悉ク赤貧ノ者ノミ露店呼賣ヲ業ト爲スニ非ス
 間マ或ハ相應ノ資本ヲ有シテ露店呼賣ヲ業ト爲ス有リ田舎ノ菓子
 營業人ハ東京ノ露店呼賣者ヨリモ其利益ノ薄キ者アリ實ニ僻地ノ
 駄菓子商ハ本案ノ爲メニ廢業スル無キヲ保セス然ルニ苟モ百般ノ
 物品ニ對シテ新稅ヲ課スル以上ハ皆其收稅ニ關スル檢束ヲ施ササ
 ル可ラス一方ニ課稅シテ一方ニ放任スルハ不肅ヲ免レス但シ營業
 ノ大小ヲ問ハス一樣平等ニ課稅スルハ不可ナリ其間必ス寬假スル
 無カル可ラス此寬假ハ原案既ニ之ヲ明掲セリ即チ露店呼賣者ニハ
 營業製造ニ稅ヲ免除シ唯檢束ニ關スル鑑札ヲ受有セシムルノミ其
 レ然リ更ニ鑑札料ヲモ免除セントスルハ偏頗ト謂フ可シ苟モ本案
 ヲ制定スル以上ハ必ス鑑札ヲ下付セサル可ラス然ラサレハ有稅物

タル菓子ノ課稅ニ檢束力ヲ失ハントス若シ夫レ鑑札受有ノ爲メニ
 生スル手數ノコトハ畢竟自己ノ過誤ト事變ノ起發トニ由ルノミ東
 京ノ裏店ニ住居シテ一月間ニ二三回モ轉徙スル如キ貧民ハ今日ハ
 菓子ヲ賣ルモ明日ハ他業ニ轉シ決シテ菓子營業人ト稱ス可キ者ニ
 非ス又彼ノ遠隔ノ地方ハ十八番モ云フ如ク地方官適宜ノ方法ヲ設
 ケテ以テ鑑札ノ受有ニ便ナラシム可シ思フニ露店呼賣者ノ中ニモ
 一月ニ十五圓内外ノ利益ヲ占ムル者ナキニ非サラン之ヲ右ニスル
 モ之ヲ左ニスルモ菓子ヲ有稅品ト定ムル以上ハ無鑑札ニシテ菓子
 ヲ賣ラシムルハ檢束ニ害ス故ニ原案ニ從ヒ鑑札ヲ付與スルヲ當然
 ナリトス本官等罰則ニ於テ稍ヤ緩和セシモ他ニ支障スル爲メニ第
 二讀會ニ消滅ニ歸セリ到底鑑札ヲ受有セシメサルトキハ檢束ニ害

スルヲ以テ現問題ニ同意スル能ハサルナリ

○二十六番鍋島

本官ハ現問題ノ賛成者ナリ其理由ハ發議者之ヲ詳陳シ十六番又之ヲ補述セシヲ以テ本官ハ單ニ賛成ノ一語ヲ表シテ已メリ然ルニ十八番十九番等ノ反對說出テ十八番ノ鑑札ヲ要スルハ警察ヲ主眼ト爲スト説キシニ三番既ニ其背理ヲ駁セシヲ以テ本官復タ贅辨セス九番ハ苟モ稅則ヲ立ル以上ハ何如ナル賤民ニモ鑑札ヲ受有セシメサレハ法律ノ精神ヲ貫ク能ハスト云ヘリ本官ハ九番ノ意裏ヲ考フルニ是レ鑑札ヲ下付セサレハ檢束ニ害スト云フニ在ラン檢束ノ困難ナルハ小營業人ト露店呼賣者トヲ區別スルニ在リ彼ノ風月堂等ノ如キハ露店呼賣者ト其區別本ト判然ナリ又小營業人ト露店呼賣者トノ區別モ亦自ラ判然ニシテ決シテ糾紛スルヲ

憂ヒス九番ハ極點ヲ舉論スト非難シ露店呼賣者ニモ一月十五圓内外ノ利益ヲ得ル者アリト辨セリ或ハ然ラン然レトモ概論スレハ露店呼賣者ハ賤業者ト謂ハサルヲ得スシテ是レ原案ノ明カニ認識スル所ナリ實ニ多數ノ露店呼賣者ノ中ニハ稀ニ幾多ノ利益ヲ占ムル有ル可キモ蓋シ千百人中ノ數人ニ止マレハ據テ以テ比例ヲ立ツ可キニ非ス分明ニ區別ノ存シテ稅則ニ害スル無キヤ露店呼賣者ヲ法律ノ外ニ置クコトヲ得ハ必ス然センコトヲ望ム原案モ檢束ニ關シテ獨リ鑑札ヲ要スト爲セトモ若シ内閣ニ於テ其區別明カニ立チ檢束ニ害スル無キヲ見ハ復タ之ヲ要セサル可シ鑑札料ハ其額僅少ナレハ其手數ノ爲メニ或ハ却テ官府ノ損失ヲ招カントス某議官ハ鑑札料ヲ十錢ニ減少ス可シト云フモ是亦首肯ス可キノ論ニ非ス何ト

ナレハ露店呼賣者ハ菓子商ノ十分ノ一ト假定シ概シテ十錢ニ減額スレハ他ノ九モ同ク十錢ニ減額シ到底官府ノ損失ヲ爲ス可ケレハナリ若シ然ラスンハ乙ヲ十錢ト爲シ甲ヲ二十錢ト爲ス等ノ煩累ヲ致サン故ニ現問題ノ正當ナルヲ述ヘ以テ九番ノ聖慮スル無ランコトヲ望ム

○十六番 伊丹重賢

反對論者ハ極點ヲ舉論スト難スレトモ此ノ如キ貧窶ノ小民ハ必ス多多之レ有ラン故ニ本案ヲ發布セハ是等ノ小民モ決シテ免カルコトヲ得ス僻遠ノ地方ニ在テハ鑑札ヲ受ル爲メニ信宿シテ郡役所ニ出頭スルノ困苦ヲ感セン是ヲ以テ嚴ニ本案ヲ施サハ犯則者ハ必ス貧民ニ多カラシ十八番ハ現問題ハ第一條ノ別項ト爲スヲ寧ロ可ナリトスト説ケリ故ニ本問題消滅セハ十八番ハ果シテ

前言ヲ踐テ其修正ヲ提出スルナラシ然ラスンハ本官代リテ之ヲ提出セントス

○外三番 神鞭知常

現問題ハ苟モ實際ニ害スル無クシハ原案ヲ維持スル職掌ニ拘ラスシテ之ニ從ハント欲スレトモ他ニ然スル能ハサル事由アルヲ奈何セン初メ本案ヲ起草スルヤ菓子商ヲ概括セシモ煎餅商等ノ區別ニ苦ミタリ又之ヲ概括スルトキハ營業者ニモ大小アリテ幸不幸ヲ與ヘン菓子ニモ精粗ノ差別アリ是ヲ以テ終ニ露店呼賣者ト半季三十圓以内ノ賣上高ナル菓子商トヲ免税ニ付スルニ決セリ彼ノ山間野外ノ怪シケナル茅屋ニ住スル翁媪モ苟モ菓子ヲ賣ラハ本案ニ從ハサル可ラス是レ其營業ハ小ナルモ其菓子小賣人タルハ一ナレハナリ又凡ソ製造税ハ賣上高ノ百分ノ五ナレハ一月ニ百

圓即チ一日ニ三圓餘ノ賣上高ナレトモ五圓ノ税金ヲ納メサル可ラ
 ス然レハ即チ露店呼賣者ヲ全然ニ法律ノ外ニ置クトキハ小賣人ト
 ノ比較ニ權衡ヲ失セントス是レ敢テ檢束ニ關シテ立論スルニ非ス
 即チ菓子商ノ地位ニ在テ之ヲ考フルノミ三番ハ菓子商ハ露店呼賣
 者ニ潛匿スル無シト云フモ榮譽ヲ顧ミサル小賣人等ハ其必無ナル
 ヲ保ス可ラス蓋シ鑑札ヲ受有セシムルモ決シテ脱税ナシト謂フ可
 ラサレトモ一方ニハ出賣鑑札仕入鑑札ヲ受有セシメ復タ其營業ノ
 大小ヲ問ハス其レ然リ露店呼賣者ヲ全ク本案ノ外ニ逸セシムルト
 キハ他別ニ權衡ヲ失ストノ感觸ヲ生セントス故ニ内閣モ是等ノ賤
 民ニ困難ヲ感セシムル目的ヲ以テスルニ非サレトモ彼此ノ權衡ヲ
 量リテ此ノ如ク制定セシナリ酒類ニ藉リテ之ヲ言フモ外國輸入ノ

麥酒葡萄酒等ニハ課税セサルモ税關ハ檢査ヲ加フルニ非スヤ願ク
 ハ此旨ヲ領シテ彼此ノ權衡ヲ保タシメンコトヲ

○三十五番 細川潤次郎

原案維持者ノ甚タ少數ナルヲ以テ本官モ九番ト
 同ク一辨セン抑モ本案ハ菓子税則ニシテ即チ菓子ナル物質ニ課税
 スル法律ナリ既ニ菓子ニ課税スルナレハ其營業ニ從事スル者ヨリ
 税ヲ收ムルハ當然ナリ貧民ト雖モ此營業ニ從事スル者ハ決シテ納
 税ノ義務ヲ免カル可キニ非ス露店呼賣者ノ中ニモ自ラ菓子ヲ製造
 シテ需用者ニ賣付スル有ル可シ故ニ貧富ヲ論セス菓子營業者タル
 公共ノ名目ヲ以テ本案ノ管轄ヲ受ルナリ然リト雖モ露店呼賣者ハ
 其間自ラ酌量ス可キ狀情無キニ非サルヲ以テ鑑札ノミヲ受有セシ
 メ以テ一般ノ菓子營業者ノ中ニ置キ而シテ營業製造ニ税ヲ免除セ

ルハ即チ原案ノ精神ニシテ實ニ穩妥ノ措置ト信ス鑑札ヲ受有スル爲メニ其料金ヲ納ムルハ其名ハ異ナルモ其實ハ一種ノ課税ノミ貧富大小ノ資格ヲ問ハス一樣ニ鑑札ヲ受有セシムルモ課税ハ一樣ニ出テシム可キニ非ス故ニ比例ヲ立テテ其區別ヲ爲セルナリ是レ恰モ轉輾スル物品ノ如ク其轉輾スル度数ニ應シテ比例ヲ定ムルハ當然ナリトス二十圓ノ製造營業税百分五ノ製造税モ皆是レ比例ナリ貧民ハ此比例税ニ耐サルヲ以テ獨リ鑑札料ナル輕税ヲ負ハシム此ノ如クスルヤ同ク本案ノ管轄ヲ受ルモ其間義務ヲ負擔スルニ輕重ノ差別アリ而シテ課税ノ外ナル手数ヲ要スルハ營業者ト同一ナリトス蓋シ營業者ニ在テモ貧民スラ此手数ヲ免カレス吾曹營業者ハ固ヨリ當サニ正當ノ義務ヲ負擔スヘシト反省セン元來人民ノ利ニ

敏ナルハ意想ノ外ナル者ナレハ苟モ法律ニ逃路ヲ存スルトキハ必ス多ク小賣人ノ露店呼賣ニ化スル有ラントス寬酷何如ヲ比較スレハ現問題ハ原案ヨリモ寬ナレトモ到底五十歩百歩ノ論ノミ寧口原案ヲ以テ其宜キヲ得タリトス

○議長 討議既ニ盡キタリト認ム三番ノ修正ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十五人

○議長 少數ナルヲ以テ三番ノ修正説ハ消滅ス

○十八番柴原和 本官ハ三番ノ修正ハ寧口別項ト爲サハ可ナラント豫

陳セシモ敢テ其消滅ヲ待チ本官ノ修正ヲ提出ス可シト明言セシニ非ス然ルニ十六番ハ三番ノ修正説消滅セハ本官ニ修正説ヲ提出セ

シコトヲ望ムト云ヘリ本官實ニ十六番ノ希望ニ答ヘント欲スレトモ既ニ原案ノ可ナルヲ知り而シテ之ヲ維持スルコトニ傾向シタルヲ以テ復タ修正説ヲ提出セサル可シ蓋シ露店呼賣者ニモ相當ノ利益ヲ得ルノ多キ者アレハ全ク免稅ニ付セハ小賣人ノ惡感觸ヲ來タス可ケレハナリ且ヤ風月堂其他ノ大營業人ト小營業人トノ比較モ同一ナレハ本官ハ終ニ本案ヲ是認ス

○十六番 伊丹重賢 三番ノ修正説ノ消滅セシハ蓋シ其割註ト爲スヲ嫌フニ出タルナラン是ヲ以テ更ニ本條ノ末文ニ露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ除クトノ一項ヲ補足セント欲ス

○三番 箕作麟祥 賛成

○五十一番 津田眞道 賛成

○二十六番 鍋島幹 賛成

○三十一番 上杉茂憲 賛成

○三十三番 橋口兼三 賛成

○議長 十六番ノ動議ハ定數ノ賛成者アルヲ以テ問題ト爲シ直ニ決ヲ取シ其修正ニ同意スル者ハ起立セヨ

起立者十三人

○議長 同意小數ナルヲ以テ十六番ノ修正ハ消滅ス乃チ本案ニ可定セリト認ム時正サニ午ナルヲ以テ一旦散會セヨ

正午閉場

午後零時五十五分開場

退席

四番 田中 芳男

同 五番 青山 貞

同 六番 津田 出

同 十三番 西村 貞陽

同 二十四番 楫取 素彦

同 三十八番 岩村 定高

同 四十番 渡邊 清

同 四十八番 中島 錫胤

同 五十四番 村田 保

同 五十五番 久我 通久

○議長 午前ノ續會ヲ開ク

書記官 森山 朗讀

第二條

菓子營業ヲ爲サントスル者ハ管廳ニ願出營業鑑札ヲ受クヘシ但一人ニテ二箇所以上ノ營業場ヲ設クル者又ハ二種以上或ハ三種ノ營業ヲ兼ヌル者ハ各別ニ營業鑑札ヲ受クヘシ

○十六番 伊丹重賢 本條ノ末文ニ但露店又ハ呼賣ヲ業ト爲ス者ハ此限ニアラストノ字句ヲ添加セン其文例ハ第十三條ノ朱書ニ倣フナリ前キニ第一條ニ係ル修正說ハ成立ス可シト思量セシニ僅ニ小數ニシテ消滅セシハ蓋シ位地其宜キヲ得サルニ由ル乎本案ニ據レハ第十七條ノ「五圓」云云ノ罰例ニモ影響ヲ及ホシ到底苛酷タルヲ免レヌ因テ本說ノ成立センコトヲ切望ス